

地域福祉に関する意見・要望等（自由記述）

地域福祉に関する意見・要望等（自由記述形式）について、意見の内容をみると、「福祉サービス・福祉教育の充実について」（福祉サービスの内容の充実や利便性の向上、福祉に関する教育の必要性など）が51件で最も多くなっています。

また、次いで意見が多かった項目は、「情報提供、広報・啓発について」（地域福祉に関する情報の提供方法について、市民に対する福祉の意識啓発に関する必要性など）が41件となっています。

【地域福祉に対する意見・要望等（自由記述）】（件）

内容	件数	頁
福祉サービス・福祉教育の充実について	51	1
情報提供、広報・啓発について	41	6
民生委員、自治会等について	32	10
地域との関わり、近所付き合い	17	13
行政への不満や要望について	21	15
公共施設・交通機関等について	21	17
相談窓口の設置・充実について	15	19
高齢者、障がいのある人の福祉について	16	20
見守り・声かけ等について	12	22
アンケートについて	16	23
ボランティア活動・NPOについて	4	24
協働のありかたについて	8	25
低所得者に対する福祉について	9	25
地域の治安(防犯)・マナーについて	2	26
災害時・緊急時の対応	5	26
児童福祉について	5	27
道路・歩道・街灯等の環境整備について	3	27
その他	32	28
件数	310	

※ 意見・要望は、内容別に整理しており、複数の内容に該当するものは、主な内容の項目に掲載しております。

【福祉サービス・福祉教育の充実について】（51件）

性別	年代	意見
女性	40～49歳	介護保険や生活保護、その他の公的サービスについて本当に必要な人が利用できていない状況にある。また、基準がわかりづらいところもあり、生活に支障をきたしている人に福祉サービスが受けられないのはなぜなのか？わかりません。必要ない人が利用できて、必要な人が利用できない理不尽を感じます。行政はもう少し見直しをしてほしいと思うし、医療（かかりつけ医）、近隣に住む住人、本人等にリサーチして本当に必要な人にサービスを受けられるようにしてほしい。地域住民が協力できることに限界があります。福祉団体も何をしているのか分からないところがあります。広く活動内容を知らせるべきでは？と思います。参加できることがあるかもしれないのに、見逃してしまっている様な気がします。自分自身にかえってくる事でもあるので、興味や自分にできる手伝いは参加できたらと思います。社会全体で参加できる基盤作りができるのが良いのではと思います。
男性	30～39歳	サービスを利用するかしないかは個人の自由であるべきなので、福祉サービスやイベントなどの告知をしてほしい。生活保護を受給しつつ高級車に乗ってパチンコに行く者がいる。許されない。福祉の充実は大切だが現在の税収の範囲内で行ってほしい。福祉のためでも増税は受け入れられない。
男性	80歳以上	私は88歳の高齢者で両足困難な障がい者です。住まいは筑穂で週2回市内病院でリハビリのため、通院しておりますが通院費がタクシー・バスで乗り継ぎその費用はばかになりません。市行政は障がい者に対し今より細かい検討をお願いします。
男性	60～64歳	当地区では高齢者の生き生きサロンが盛会に行われていますが、このような集まりをもっと充実させていくといいと思います。
女性	50～59歳	当事者の方々の声を反映することが第一だと思う
女性	50～59歳	介護等が必要になった時に手続き等本人ができないこともあります。例)障がい者になった時に、免除等を書類で説明して分かる人もいれば分からない方もいるので、担当者を決めてその方が手続き等をするようなことをしてほしいと思います。実際、父が障がい者になったが車の税金免除をしていませんでした（後で書面で説明したと言われた）病院等の出費は多くなるため、忙しくて大変だと思いますが、少しでも心遣いしていただける職員がいてほしい。手続きに言った時に知らん顔しないでください。心細く聞いても、わからない人もいます。仕事が忙しいと思いますが、手続きにきた人も大変な思いで行っています。
男性	65～69歳	高齢者に対して介護保険税、国民健康保険税の金額が高く設定されすぎていて、あまりにひどい。福祉に対して住民の顔色を伺う前に公僕として賃金、手当、その他収入を世間並となるよう、身を正しなさい。悪質な生活保護受給者を野放しにしておきながら、また隠し財産をたくさん持っている悪質な所得隠しで税金を払わないどころか年金をまるごともらっている人間を野放しにして怠慢な行政を行なって取りやすい真面目な人からだけ税金を取り上げる今の市役所のやり方は許せない。
女性	65～69歳	日本の社会構造の変化に伴い理想的な仕組み、助け合いの心が近年著しく減少しているように見える。自分が育つまでに家族、両親、地域の方々がどれほどお世話をしてくださったか考えれば老親の生活、健康、将来を共に支えていくのは当然と思う。現実には病院へ通院するにもタクシーやバス等で不自由な思いをしながら続けているお年寄りが多いと聞き、呆れてしまいます。生活のためには働かなければなりません、やりくりして老親の世話をさせていたいただきたいとすることが増えることを願います。高い介護保険料には驚かされます。本来、家族、家庭でやるべきことなのに。
男性	50～59歳	障がい者や生活保護者の実態調査を徹底し軽度の方や働ける方が自活できるような授産施設等の検討をお願いしたい。本当に福祉が必要な方へ協力したいと思う。
女性	50～59歳	在宅生活を続けられなくなった時の入所がすぐ可能となるシステムを考え出し、施設の整備及び情報提供や案内の充実を強化してほしい。

女性	50～59歳	近年高齢化が進み、高齢者の一人暮らしが増えているとともに、認知症等による高齢者の暮らしの不安が増していると思われる。介護保険制度は考え方としては間違っていないと思うが、現実には高い保険金を収めているわりには充実した内容のサービスが受けられていない。年々認定は厳しくなり、サービスが受けにくくなっている現状は見逃せない。介護保険は市だけの取り組みではないが、何か別の形で高齢者が住みよい環境づくりができないものだろうか。団塊世代が高齢者となるのも目前であり、国や広域連合、県とは異なる形で飯塚市として高齢者福祉に取り組んでもらいたいと思う。
女性	50～59歳	職員の方に頑張っていたくため、まずは職員の無理のない勤務時間や体制を整えてもらうことが大事だと思う。高齢者が増えていくこの現状をよく把握し、生き生き活動できるサポートがより一層求められていく事と思う。ニーズにあった活動を常に考え地域に耳を傾けながらこれからもしてもらいたい。
女性	20～29歳	教育現場で働き始めたばかりです。教育が次の世代の未来を作ると感じています。子供だけではなく、青年、高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて学ぶ場が必要であると思います。
女性	65～69歳	高齢者と障がい者がいる家庭をもう少し大切にしてほしい。障がい者の方も65歳になると介護保険を支払うようになっていますが、少しでも援助できるのでは。
女性	70～74歳	苦しい中から介護保険高額を年金からきちんと差し引かれていた現在の。何も使用しない場合は少しでもよいので返金するようにはできないのでしょうか。不合理に感じています。生活保護受給者の方が本当に困ってあるのであれば良いのですが中にはそうでないような方もおられるようで羨ましいと思う時もありますのでその点よろしく行政をお願いいたします。
男性	40～49歳	小中学生の教育、マナーに力を入れてほしい。穂波地区は特に何につけても劣っているそうです。
女性	50～59歳	障がい者支援施設に入所されています。お母さんも高齢で介護保険サービスを利用されています。ご本人、ご家族が安心して暮らしていけるよう地域の支援を希望します。
男性	50～59歳	福祉サービスと一言でいうと簡単ですが、サービスはこれで良いという限りがないものです。行政が精一杯したとしても住民はその上を求めてくるもので、最後には財政的にも行政で働く方々にも多大の負担がかかってきます。福祉団体の中には悪質な団体(福祉を食い物にする)が多くいます。このことを踏まえ、慎重に対応してください。陰ながら応援しています。
男性	70～74歳	高齢者、障がい者に対する交通支援をもっと細かく。買い物難民のないように。
男性	75～79歳	出来れば福祉に関する(障がい)等の手続きが一箇所であれば大変助かります。
女性	30～39歳	高齢者の老人ホームなどの施設、療養型病棟が飯塚市は少なく限られており、行き場のない高齢者が多いと思う。地域の住民での対応はプライバシー等もあり、難しいと思う。もっとその部分の対策ができないものか？家族で見ると限界もあるだろうし、お金のかかることになると生活も大変だと思う。ボランティア等の気持ちはあっても受け入れ側の思いもあると思う。
女性	60～64歳	福祉サービスを利用しようと思ってもマニュアルに当てはまらない場合は利用できないので困ってしまい、結局利用せずじまいでした。(手続きだけして…。応答にも1～2週間とかかりすぎます)。もっとサービス内容をきめ細かくして利用しようと思った人が必ずやどんな形でも利用できるようにしてもらいたい。細かくできないならば、ケアマネジャー等の上級の資格をもった人の責任判断で対応できるようにしてもらいたい。アバウトに。現状はあまりにも事務的で温かみがない。血が通っていない。こういうことを一度でも体験すると再度利用しようという気持ちにならない。(失望感と時間の無駄)。福祉団体や行政はもっと大胆に。きめ細かく。生身の人間を相手にしている仕事だという覚悟をもって。1に愛情。2に相手の身になって、3,4がなくて5にマニュアル…だと思います。福祉に充てた予算のお金が本当の意味で生きるために。お役所仕事はやめて、民間企業の理念を見習うぐらいの心意気で。
女性	60～64歳	もっと老人福祉施設を増やし、介護福祉士などの待遇など改善し、より多くの若い人たち(職のない若者)がすすんで働くようになれば良い。

女性	60～64歳	介護付きのアパートのようなところがあり、例えば風呂の設備をみても動けない人が入れるようなものは一切なく入浴はどうしているのだらうと思ってしまうところがたくさん出来ていると聞きます。食事の内容のひどさも想像できます。老人介護という名の下でお金儲けに走っている施設、合法であってもひどい状況など、抜き打ちで検査し、結果をホームページで流すなどして欲しい。老人を大切にすることというのはこういうことです。施設向きの顔など不要です。老人を大切にするとすれば子ども社会も元気になります。
女性	75～79歳	今すぐに入所しなくても身体が不自由になり動けなくなった場合、認知症が進んだ場合、家に修理が必要でもう住めなくなった場合、こんな場合、自分たちが入所できる施設はどういう所があるのか、事前に知っておくだけで安心感がある。1人暮らしの場合は、わざわざ民生委員さんにまで相談したくなく、知人に相談しているのが現状である。そういった施設や高齢者住宅の一覧を(入居条件、料金、設備など)民間の分も含めて広く知らせて欲しい。また、家族(高齢者をかかえる)としては、各施設の相違点、(ケアハウスと特別養護老人ホーム)なども全く分からないので、もう少し浸透させて欲しい。
女性	60～64歳	幼児期から教育が大変だと思う。何をしても人々の教育だと思う。飯塚はとっても良いところです。皆が少しでも暮らしやすくなればと願っています。
女性	75～79歳	年金生活で在宅生活が出来なくなった年金で入所出来る施設ができるとうい。
男性	65～69歳	高齢化が進む、今後老人一人一人が健康を少しでも維持出来るように、家に閉じこもる事を少しでも減らせるよう、色々な活動や娯楽等が行えるように福祉施設の開放を行い、自由に利用できる施設にして頂きたい。筑穂の福祉施設も数年で閉館と聞いているが、現在利用されている方々もかなりおられるようですので、代替りの施設をぜひ準備して頂きたいと思います。また、65歳以上の方でもまだまだ精神的、肉体的、知的にも若い方は多くおられると思います。福祉に関するお手伝い等は充分対応できると判断致します。少ない金額でも応援出来ると思いますので、声かけ等で行政と協働出来ます事を期待致します。コミュニティバスも従来に比べ便利が悪くなったとの声が大であり、行政はその声を受け止めて改善を図るべきです。出来ない言い訳より出来るアイデアを出し合い従来より良くなる方向へご検討ください。介護施設も現在でも順番待ちの状態とか。今後の高齢化に向けて数を増やす必要があるのではないのでしょうか。高齢化と併せて空き家が目立つようになりました。どこの自治会でも数件の空き屋はあるようですが、防犯、防災の意味から行政よりの指導で持ち主に対応を呼びかけて欲しいと願います。
男性	65～69歳	老人高齢者にとって介護施設などを充実させていただきたいと思っております。
女性	50～59歳	今、現在社会福祉協議会や社会福祉課の役割や活動が市民にどれだけ知られているのでしょうか。確かに社協便りや市報は発行されていますが、内容と理解している人は少ないと思います。学生の頃、朗読ボランティアをしたり、その後重度心身障がい児を12歳で亡くすまで育てました。実感として行政は弱者に冷たく「お役所仕事」をしているとしか思えないことがありました。高齢者や障がい児者の家族にもっと情報を教えてあげてください。せっかく良い制度があっても知らずに利用していないということもあります。(市報に載っていても見落とし気づかない場合がたくさんあります)。もっと開かれた社協にしてください。サンアビリティーズの裏にひっそりと一般の人が気軽に入れる雰囲気がなく、活動も意識付けや弱者への偏見やいじめを無くす取り組み等をして欲しいと思います。
女性	60～64歳	福祉サービスなど利用したいと思っても手続きが簡単にできず利用者が困っている。
女性	50～59歳	たばこが吸える高齢者や障がい者の施設がないため、入所できないこと。
女性	70～74歳	高齢者は一人での生活をしている人が多くいます。近くに相談する所、また相談員がいると助かります。福祉サービスのできる場所、入所施設を多くしてほしいです。

女性	50～59歳	福祉のことに関してはほとんど諦めています。誰も何もしてくれないし、助けてもくれないと。困った時には家の中で死ぬ、そう思って生きています。重度の身体障がい者でもデイサービスや在宅サービスの日数や時間が少なく、家族の負担は減りません。入所したい！と思った時にすぐに入所できる施設はどこにもありません。困ったら死ぬ。それしかないんです。介護サービスを受けられる程度の高齢者も助けを必要としています。こんなアンケートをとったところで、何も変わりはないのでしょうか。意味がありません、こんなものは
女性	40～49歳	高齢者入所施設(認知症)、今預けているところでもほったらかし、おもらしたシーツ、洋服もそのまま、部屋に行ったら、一人部屋になっていて電気を消して、カーテンしめ、まる一くなって寝ていた父。臭い部屋でした。先日は爪が伸びていたので、切ってもらうようお願いして、髪の毛も言ってもきってくれず、お金は預け金になっている。入所して2年になります、3年以上認知症で病院に行っても違うといわれやっとなのころへ預かっていただき、何回、車の事故にあいそうになったか。病院の先生も話をよく聞いてくださったら父もきつい思いせずによかったのにと考えています。
男性	40～49歳	地域住民の参加は望めない。働いている人が多いから。役員になる人もいないため、役員選出がいつも困難。だから住民は協力すべきかもしれないが、まずは、行政や団体が活動して情報提供などすべき。地域には知られにくい家庭の事情もあるから地域には協力を求めたくない。行政が個別に把握しておく必要なサービスを受けることができる。手続きは簡素化し、施設の増設も行ったほうがよい。預けたいときには満員のこともあり困ることがある。
男性	70～74歳	先々は教育(学校教育、社会教育を総合する教育)の見直しをすべきではないか。今、管理教育が先行し、ペーパー人間(多様性がなく創造性がない。規制された定理に基づいたもので、人権が尊重されない)が育成されている。現実に目をむけは正されるところから取り組むことが大切ではないかと思う。次に経済優先でなく人間の尊厳を尊重することが大切である。特に日本国の憲法の理念とその中にある、三大要素の尊重である。また恒久平和の維持、労働三原則を守り、人権が第一とする意識の確立をすることが福祉を推進させる要因にならなければならないと思います。
女性	75～79歳	私は、支援1の障がい者です。左足に股関節の人工骨、膝に二本のくぎがはいっています。4年前に膝の手術後福祉支援で電動カート借りることが出来てとても便利で快適な生活でき感謝して暮らしていました。今年3月担当のケアマネジャーの方より支援1の人には電動カート貸す事が出来ないといわれ、支援を取りやめられました。その時とても悲しい思いをしたのは私の事情を全然考慮してもらえなかったことです。規則規則の一点張りで押し通され冷たく厳しい言葉でした。私は坂の多い高台に住んでいます。もっと相手の立場になって親身な対応をしていただくのが福祉ではないでしょうか。自立も出来るように助けてほしいです。買い物にもいけず長年通院していた病院も近くに変えられました。杖をつきつき、休み休み時間をかけ通院し、それでも疲れて家に帰るとぐったりとしてしまいます。バス停も遠く気も身体もなえてしまいます。これから先の短い人生楽しく過ごしたいと思い、もっと血の通った暖かい福祉支援を願っています。
男性	60～64歳	理念、ビジョン、長期計画を策定し、市民参画型で実施することが肝要です。また、市民が自分自身の問題であるとの認識を持つための積極的、平易な教宣活動が前提条件です。
女性	40～49歳	福祉バス等の数を増やしてほしい。車イスの人でも安心して外出できる様な街づくり(バリアフリー)。若年性のアルツハイマー者が増加しているように感じる。専門性のある施設作り(症状の進行防止や機能向上に向けて)。義務教育の教材費の無料化。学生の通学時のバスや電車の料金に補助があれば良いと思う。
男性	70～74歳	既存の団体が完全かというと、保守的になっていて機能していない気がする。新しい枠組みで考えを作っていくことが大事だと思われる。誰もがしてもらうという受け身的な考えでなく、一人一人自分の事だと思うような教育から始めていく必要もある。ボランティアの活動を強く進めていくことも大事なのではないかな。一

		一人の意識の改革が早急に求められている気がしています。
女性	50～59歳	法律の壁に阻まれて必要としている方に支援の手が届いていない事例があると感じる。時には柔軟な法解釈が必要なのではないのでしょうか。現行の成年後見人制度より簡便な利用者の幅を広げた制度ができないか。小額の財産管理(現金の出入金依頼)を可能にするなど。介護認定のない高齢者の施設入所の実現や賃貸住宅の仲人。ケアプランに基づかない単発での家事依頼。「生活共同組合」で実行されているものは、一件あたりの単価が高い。他の自治体で行われている地域独自の金券発行で必要な人が必要な時だけ必要な回数利用できる制度の開発。互助の精神で依頼した人も時間のあるとき、単発でもお手伝いする機会が生まれると思います。
男性	75～79歳	今一番見直される事は、教育と思われれます。すべてここから見直しして一歩一歩見直しを変わっていくことだと思います。誰かではなく人々がもっとやさしくしたら、福祉にしても、地域にしてももっともっと潤い考え方が変わってくるのでは、大事な教育は今一番気になる状況のように思えてなりません。人生を長く生きていて見えていたことも目に止まらなかった事が、すごくあるということです。隣にいる人の事を気に出来るようになるといいですが。
男性	20～29歳	年金からは相談なしで引くせに給食代こそ児童手当から引く。隣近所声かけ、優しさが足りない。ひとりひとりが思いやり、自分の子どもは自分でしつけ、学校や先生のせいにしな。もっと先生も強くなり、若い人に生活保護にならない仕事をさせる。恥を知ること。
女性	75～79歳	生活保護受給に対して、見直しを図り、一人暮らし高齢者に対してもっと改善を図るべきだと思う。
男性	50～59歳	介護認定に市から年に1回こられる方、介護される人を認定する事も仕事ですが、介護している人も認定してほしい(経済、健康状態、精神状態)。それが無理ならそういった認定する方をつくる制度を設けて経済面、健康面、精神面からもサポートしてほしい。
女性	70～74歳	今後、介護が必要になったとき、家族に負担が掛かる事が心配で養護施設等の充実を強く望んでいます。横の連絡手続き等がスムーズに行われて、たらい回しされない様に日ごろから密に交流を深めて頂きたいと思っています。
女性	50～59歳	老人施設に入所するときや、介護保険を使うときなど専門用語を使ったりして分かりにくい所があるのでもっと分かりやすく説明してほしい。
女性	50～59歳	民生委員の活動がよく見えない。介護施設の市の運営はできないものだろうか？例えば廃校を利用し、一人でも生活できるアパートのようなものは作れないのだろうか。もちろんその中には世話人と看護師等をおき、安心して暮らせる施設。このごろはスーパーができ、車がないと買い物が出来なくなってきた。買い物難民ができてきている。そういった事への行政の対応これは福祉だけでの問題ではないと思う。市として考えなければならないのではないだろうか？
女性	75～79歳	今のところ何とか元気(色々病気はありますが)に過ごしているので、今後利用する時があると思います。その時はどうぞよろしく願います。老夫婦二人暮らしです。
女性	50～59歳	個人での意識はあると思うが、地域での意識は薄いと思う。問8以降のアンケートで地域重視を言うのであれば、隣近所単位で意識できるような勉強会等を開いて皆で考える場を作ってほしい。そういうマニュアルを作ってほしい。地域で取り組みといわれても、なかなかよその家庭のことに首をつっこめないと思う。ご近所の方々と集まって顔を合わせる機会が増えると協力もしやすくなるものです。

【情報提供、広報・啓発について】(41件)

性別	年代	意見
男性	30～39歳	誰もが安心して暮らすことができるまちづくりとは、どのようなことでしょうか。私自身が自分の仕事をしっかりして、家族と共に生活をし、親戚付き合いが円滑にできる中で、安心できればそれは完成しているのでしょうか。私以外の恵まれない境遇の人の生活が今よりも改善され、安心だと言える地域社会をめざし続けることでしょうか。現在の社会は額に汗して努力している人が向上を持ち続けることが難しい世の中のようなのです。セーフティーネットや福祉により生活に困窮する人の生活が自立するまでの手助けをすることは必要ですが、若く活力ある人が努力してもしなくても、生きていけたらそれで十分と思わせてしまう環境では、誰もが安心できるまちづくりは継続することが困難になると思います。私以外の人の生活を支えるためには、私は自分の生活を維持する以上に努力しなければなりません。今の生活ができていても、かつての人々が努力していただいたお陰であることを忘れないでいたいと思います。これからの地域福祉を維持していくのに、行政のみではコストがかかりすぎるので、地域の財産である人材やNPOの潜在力を互いの関係を補う中心で活かしていくことは必要です。地域コミュニティセンターや市庁舎、公民館、コスモスコモンを始めとする文化施設などは地域みんなの財産です。自治体職員の単なる居場所でも一部の人の所有物でもありません。利用者の立場に立った、運営を目指すのに係る窓口職員一人から、管理する長まで、一貫して有効に利用される視点を持って下さい。ボランティアやNPO、学生など有効利用したい人に、魅力的に映るようにして下さい。一市民の声が地域社会のこれからを変えることができると信じて。ぜひ協働よろしくをお願いします。
-	75～79歳	自治会の活動が少ない。年中行事だけはやるが、地域の交通安全指導をする人が少ない。全て積極性がない、する人はしておりしない人は全く知らないふりをしている。安心・安全な町づくりには全ての人が地域の状況を知ることだが、その機会が少ないので広報誌などで度々知らせる工夫が必要。回答を無料で返送させ、興味を持ってもらうことが必要だと思う。地域の活動になかなか参加しない。いつも同じ人ばかりが集まって同じ事をやっているので発展性がない。行政から委嘱して役をやらせると、嫌とは言えないのではないか、そのためには手当をもらっているから、やるべきだ。一回自治会長を引き受けるとなかなかやめられないのも手当がほしいからではないか。5年以上は手当制度を作ること。
男性	40～49歳	原点に戻れば安心していけるでしょう。及び福祉自体行政等の予算の動きをわかるように公表があれば納得行く方が増えるはず。
女性	50～59歳	在宅生活を続けられなくなった時の入所がすぐ可能となるシステムを考え出し、施設の整備及び情報提供や案内の充実を強化してほしい。
男性	40～49歳	日頃地域福祉についてあまり考えたことがなかったのでこのアンケートで少し考えるきっかけになったような気がします。困った時にどこに相談したらいいか、どんな利用施設や団体があるのかなどこれから市の広報誌など気をつけて読んでみたいと思います。
女性	60～64歳	ゴミ出しは自分の家の前に出して収集できるようにしてほしい。猫、カラスが多く年をとって収集する所へ持って行くのも大変。収集車は一つの所に集めている方が良いのかもしれないが。
男性	60～64歳	福祉に関する情報発信のやり方を充実させるべき。最近、特にインターネットからの情報発信が増加しているような気がしますが、現在の高齢者(80以上)はインターネットが使えない人がたくさんおられます。手抜き業務ではないかと思います。自分の足で歩いて目で見て地域福祉のあり方を考えてゆく事が大事。
男性	75～79歳	地域福祉を向上させるには、まず地域住民一人一人の意識とそれを取りまとめるリーダーの情熱だと思います。まず町内会、隣組単位でのコミュニケーションをしっかりと構築する。それにはイベント(祭、花火、ゲーム、カラオケ大会など)を行う。それには場合によって行政のバックアップを行うなどアクションをしていただきたい。

女性	40～49歳	家は4世代同居で今、介護する家族がいないのであまり社協や福祉団体にお世話になったりすることがないので、身近に感じる事はありませんが、何年かたつと両親の介護があるかもしれないのもっとわかりやすく、頼みやすい行政であってほしいと思う。
女性	50～59歳	まだ地域福祉にお世話になっていないので情報が少ないのでよくわかりません。ただ交通費がとてかかるので大変です。以前事故にあつて、通院したり、家で休んでいる時、身内・知人があまりいないので非常に困りました。そのような時どうすれば良いのか、相談窓口がありませんし、どうしていいのかわかりませんでした。本当に困りました。情報をわかるようにしてほしい。病気でも重度の場合はいいけど、軽度の場合の対応が困ります。
女性	60～64歳	地域福祉を進めるに当たり、推進委員会等にもっと多くの一般地域住民が参加できるようにするべきと思う。現在もこれからも飯塚に住み続ける人の意見を聞いて欲しい。各支所の地域福祉推進委員の半数が女性になるような委員の選出をしてほしいと思います。現在進行中の計画等、早い段階で一般住民にも知らせて意見を募るように各地区公民館等での説明会を開催してほしい。
男性	50～59歳	行政がまず率先して福祉に関する事を住民にわかりやすく、広報していくことが大事。飯塚市にはどういふ団体があり、団体の活動内容をもっと住民にアピールしてほしい。
女性	40～49歳	ボランティアをしたい、していきたい、地域のために何かしたいという思いがありますが、選んでたどり着くことができないうちに日々過ぎてしまう感じがしますので、一歩進んで、年齢など集められる情報から活動内容などを提供していただけたらよいかと思う。ダイレクトメールなどで具体的に示していただけたら参加できるものをより身近に実行まで移せるかなと思います。
女性	40～49歳	こういう方法でないと分からないのでしょうか。アンケートの結果は市報等で知らせてください。
女性	50～59歳	現在仕事をしているため、福祉に興味を持ちボランティアなどに協力するといった時間が持てない。しかし行政だけに頼らずに私達も協力しなければと思う気持ちはあります。市報などに福祉活動を(ボランティアなど)報告してほしい。
女性	40～49歳	社会福祉のサービスの内容をわかりやすく、具体的に高齢者から若者まで多くの人が理解するような工夫があるといいと感じます。複雑で自分で調べると思うとなかなか「イザ」とならないと、踏み出せないものなので。
女性	30～39歳	「福祉」というものの範囲や内容など働いているとなかなかHPや情報が得にくいです。まずは、そういう情報を見られる機会増やしていけば福祉に対する関心も増し、そのために自分たちができる事を考えるきっかけになると思います。借家住まいなので、どうしても近隣の方々との付き合いは少ないですが、10年たち、少しずつお話ができる(顔がわかるようになってきました)。アパート住まいの方たちが地域に根ざすというのは少し難しいかもしれませんが、隣近所の付き合いやたわいもないお話をするなどの付き合いは、大事だと考えています。核家族や単身者が増え、昔のような顔なじみ、家族ぐるみといった近所付き合いは難しいかもしれませんが、そういう身近な付き合いを進んでしていくことは大事だと考えています。また子供たちにも教えていきたいと思っています。
女性	30～39歳	ボランティアや福祉活動をはっきりと「やろう！」と思っている人は自ら情報を探すかもしれませんが、「やれることがあれば、やってみたい」など自ら情報を探すわけではない人にも福祉の情報がもっと入ればいいと思います。そうすればもっと関心が高まったり、行動に移したりするのではないかと思います。
男性	20～29歳	情報発信。近年移住してきた者は情報を得る機会がない。
女性	70～74歳	疑問に思う事は、福祉サービスの質問の箇所です。あまり身近にないので情報なども何もありません。高齢なのでもう少し分かりやすくオープンに接しやすい環境を作ってほしいと思いました。福祉団体の活動の内容も何が何だか存じあげません。利用をしようと思われていらっしゃる方々がどんな事で出来るのか明確な事が事細かにされてある便利帳があればいいかと思います。「問18」の質問内容も今の今まで知りませんでした。一般的に知らない方が多いのではないのでしょうか。

男性	65～69歳	これから一人暮らしの高齢者が多くなると思います。家族も近くにおらず、本人の気力も薄れる中引き込まないためにも行政側から積極的に連絡、指導して高齢者を救ってほしい。
女性	70～74歳	福祉等に関する情報(特に高齢者等)が市役所等窓口までいかないと得られない事が多い、広報等にもっと法律が変わるときとか色々詳しい説明を載せてほしい。
女性	70～74歳	年を取ると印刷物の文字を読み内容を理解することは大変難しいことです。特に重要な件はわかりやすい手段を考えてください。例)①重要な項目は活字を大きくする。②簡潔に箇条書きにするとか。私たちの使った医療費の総額が何か月か遅れて届きますが、それに大変な手数と費用がかかっていると思います。誰もが好きで病院にはかかりません。その必要性が私にはわかりません。せめてそれが確定申告の時に役に立てばと思いますが…。道路、特に歩道の整備の悪い飯塚で老人の乗る電動車いす、親子2～3人のりの自転車、若者のマナーの悪さには大変危険を感じます。
男性	40～49歳	町内会に入っていないが、市民税等を支払っているのに市報等の情報誌が配られていない。あらゆる家庭にパソコン、インターネットがあるとは限らないが、日本中、世界中がインターネット情報になり大変不便です。
女性	70～74歳	町内会の活動等広報で活動されているのは知っています。今、自分が健康でお世話になってないので、余り分かりませんが、家族の者や知人が必要である立場になれば、もっともっと身近な所での相談窓口や情報提供の場がわかりやすく受けられればと感じます。
男性	30～39歳	今の行政(特に飯塚市)は縦割りで情報の共有ができていないと思う。情報を共有し、手間を惜しまず真剣に取り組めばもっと効率のよい市民サービスができると思う。
女性	80歳以上	広報いづかを丁寧にみる人が少ないのではないかと思います。市が知らせたい大切な事、福祉のことに限らず漫画みたいに分かりやすくその月の特集として発表し、いろいろな市民が覚えていけるといいなと思います。
女性	50～59歳	福祉団体の活動範囲がよく分からない、何が出来て何が出来ないとはっきり表示してほしい。
男性	50～59歳	行政からの情報等が伝わってこない。福祉に対することや福祉サービスの内容がわからないため、今後の常に情報や詳しい内容があれば新聞や広報いづか等で関心をもてる様に詳しく情報を伝えてください。もっと行政が努力して欲しい。
男性	70～74歳	既存の団体が完全というか、保守的になっていて機能していない気がする。新しい枠組みで考えを作っていくことが大事だと思われる。誰もがしてもらおうという受け身的な考えでなく、一人一人自分の事だと思うような教育から始めていく必要もある。ボランティアの活動を強く進めていくことも大事なのではないかな。一人一人の意識の改革が早急に求められている気がしています。
女性	60～64歳	若い世代の人たちは福祉に対する興味を持つ人が少ないように感じる。そういった人たちに興味を持ってもらえるような取り組みをするべきではないかと思う。
男性	65～69歳	自治会の活動の基盤が弱く役員があまり活動していない。そのための郵寄せが老人クラブの大きな負担となっている。どこの自治会も同じような状態と思う。そのためには自治会の重要性をもっと飯塚市のほうで各自治会を回って説明してほしい。他に福祉団体、教育関連の皆様もお願いします。ボランティア活動の重要性をみんなに説明をすることが大切だと思います。
女性	20～29歳	賃貸マンションに住んでいるが、近所の方との交流がほとんどないので不安です。現在は夫婦で住んでいます。今後子どもが出来たときのことを考えると、もっと助け合ったり交流を持てる環境があるほうが良いと思いますが、そういう交流を好まれない方もいると思うので、なかなか行動に移せません。地域の情報も乏しいのでもっと知りたいです。どこから情報を仕入れたらよいか分かりません。新飯塚に住んでいます。治安が悪くて健康のためにウォーキングを行いたいと思うのですが、恐くてできません。夏場は暑くて夕暮れ頃からしたいのですが、不審者が多くて困っています。

女性	50～59歳	飯塚市民である私たちがどれだけ福祉団体のことをしているのでしょうか。ボランティアは誰もが知るところですが、NPOだと福祉の活動など、団体など知らないと思います。市役所に福祉課があるけれど、その中にどのような活動がされているかは分からないと思います。自分の家族が本当に福祉にお世話になって少しずつ福祉の活動や内容がわかるとと思います。私たちは自分達に降りかかって来ることに対して、やっと気づくもの早くからいろいろなことが分かっていたら、助かることが多いと思います。福祉団体、活動は自治会に出向いて説明することが一番早道であると思っています。
女性	50～59歳	現在の行政で安心して暮らせているのでしょうか。今、私の身近に福祉サービスを必要としている人がいないので、福祉団体、行政がどんなサービス、活動をしているのか詳細は知りません。これではいけないのだろうとは思っていますが、なかなか関心がわかないし、差し迫った必要性が無いからかもしれません。そんな中でも飯塚市の広報誌だと思うのですが、少し知ることができます。これからもより多くの情報を掲載してほしい。これが私たち住民にとって一番身近な情報誌だと思う。例えば1年間をくりりにデイケアなどの情報、小ドッグの病院の情報、リハビリ、マッサージなどの施設の情報もあるといいと思います。
女性	75～79歳	先日配布された「くらしの便利帳」では、高齢者福祉サービスは1人暮らしの高齢者対象で、夫婦者(二人暮らし)には支援サービスは受けられない仕組みのように思えます。1人暮らしも大変だと思いますが、夫婦二人の持病があっても老老介護はつく大変だと思います。このような時にも支援の手は差し伸べていただけないのでしょうか。介護保険制度の仕組みはよくわかっていますが、年々上がる保険料少ない年金の中から天引きされ、そのうち自分たちがそうなったときにはサービスが受けられると思っていますが、二人暮らしではなかなかサービスが受けられないと聞きます。それに手続きが煩雑で大変だと聞きました。少しでも余力があるときに手続きをしておかなければと経験者はいいです。まだまだ大丈夫と思っているうちに動けなくなる、そうなるのは遅いからと。
女性	20～29歳	どんな活動を行っているのか知らないで、もっと大々的に活動内容や情報を住民に伝える方法があれば良いと思います。もっと知ることで、活用できるサービス等があるのではと思いました。住民も情報を求めて動く事も必要だと感じました。
女性	40～49歳	私の父が病気になり、介護が必要な状態になりましたが、入院していた病院(飯塚病院)や周りの人や行政からも介護保険のことは一切聞かされませんでした。人づてに聞いて自分で色々なところに電話をかけて介護保険の審査は「要介護2」でした。今もケアマネジャーの方の情報は乏しく、一度詳しい説明もないままケアマネをやめたりと、介護、福祉制度を知らないままの人間はほったらかしにされます。市役所にいっても窓口は受付の時点からたらいまわしに、体調が悪くて足が悪い父にとっては辛いものでした。役所の説明は専門用語、言葉を略して話すなど、私が間に入って噛み砕いて父に説明をしないと分かりづらい。本当にお粗末な状態。どんなに素晴らしい福祉制度ができて情報提供や本当に困っている人の立場に立って考えないと意味がありません。
男性	40～49歳	正直、ほとんどの人が自分達の生活で精一杯周りの事まで気が回らないか余裕がないと言うのが現実と思う。なので、もっと興味を持てるような宣伝や訴えをしてほしいです。
男性	50～59歳	5年前の合併時、旧飯塚市の社協職員のあまりのレベルの低さに旧穂波町社協職員が唖然としたと聞いたことがあります。旧自治体の施設を比べても旧飯塚市は明らかに福祉関係に見劣りします。税金の無駄遣いを画策するのを止めさせ、その分を市民の福祉の真の充実のために使ってほしいです。豪華庁舎の立替を議論する前に、必要な福祉・健康サービスビジョン構築が必要ではないでしょうか。もう一つ単に行政の縦割りとしての福祉施策のみ考えるのではなく、国の方針を先取りする位の気概で総合的な『医療・介護・福祉』サービスが可能な行政組織作りをまずは目指してほしいです。
女性	30～39歳	何かという行政に何でも求めすぎの傾向があると思う。住民ひとりひとりの意識改革も必要だと思う。

【民生委員、自治会等について】(32件)

性別	年代	意見
男性	70～74歳	民生委員がもっと地域住民と会話して欲しい。
男性	20～29歳	民生委員や児童委員の担当者の顔が見えないことや、仕事の内容がわからない。PRが足りない。地域でスポーツの活動をしているチームに声をかけ、社会福祉の窓口になってもらうように協力してもらう。
男性	80歳以上	マンション居住35年で本人87歳、妻85歳。民生委員の訪問も市職員の訪問も1回もなく組に入っていない者は市民取扱はなしか？ 福祉、福祉の声ばかりで本人には以上のような状況のなかで意見の要望も何もできない。
女性	20～29歳	まずは自治会。地域で密着(顔を知ってる程度でも)でも過度な活動は逆に負担になる。なのでイベントやサークルをきっかけに公民館に集まれるような形でのつながりが良いと思う。子供:盆踊り、夏まつり、やまかさ? 老人:ゲートボール、絵、書道、リーズナブルに参加できるもの 主婦:ヨガ(安い)、母親系のもの、今もあるとは思いますがまだよくわからないので。ポイントは車がなくても歩いていける範囲であること。主婦は特に…老人も
女性	80歳以上	各町内ごと民生委員が設置されていると思いますが、その活動はどのようになっているのでしょうか。町内で救急車がきたり入院したり在宅介護だったりしても一度も顔すら出したことはありません。まず第一その地域の民生委員の訪問があればほとんど解決することが多いのではないのでしょうか。みんなが年をとっていきます。若い人は職業を持ってまわりの老人は全ておいてけぼりになります。そのために各町内に民生委員がおかれているのではないのでしょうか。民生委員は名誉職ですか。
女性	65～69歳	民生委員、福祉委員の方々の教育をしてほしい。形式だけの研修ではなく、委員になっていただける人は少ないと思いますが選ばれた以上常識的な事に欠けるような言動は謹んでほしい。例えば人の悪口、各家庭の悪口等。委員になった人によって遠ざけられるようでは意味がないと思う。委員選びは大切だと思います。
女性	50～59歳	人と人とのつながりをきっちりとしていく為、居住するところに確実に自治会に入ることを役所で積極的に決めて欲しいと思う。人と人とのつながりができません。
女性	40～49歳	近所トラブルが起こりやすいのですが、個人的に言い合うと結論が出ないので第3者に入ってもらって客観的に見て欲しいことがあります。近くの広場は「ボール遊び禁止」と一軒のお宅のせいで子供たちの遊ぶ場所を取り上げられました。市の土地だと思うのですが、自治会が勝手に決めているのでしょうか。苦情を言おうにも窓口がわかりません。HPなどで苦情を寄せるコーナーなどはないのですか。「地域で元気な子供を」的なことを言う前に子供たちが元気に遊べる場所を作ってほしい。ちなみに枝国2区です。
男性	80歳以上	民生委員無報酬またはこれに近いと聞いたことがあります。このように活動を求めるのは酷で応分の報酬を可とし民生委員として活動してもらいたいと思います。社会福祉協議会の活動内容を知らない人が多いと思います、もっとわかりやすく。
女性	75～79歳	地域の福祉委員でとても親切に声かけをしていただいた方がありました。年度が変わって委員が交代、新しい方は一度もお見えになりません。申し訳ないですがつい比較してしまいます。やはり心の優しい真面目な方が福祉に携わるべきだと思います。なかなか難しいことかもしれませんが、掛け声よりも行動が大切だと思う。
男性	30～39歳	私の住んでいる近所には、社協、小中学校や市役所支所等の行政出先機関、教育機関、福祉団体がございりますが、地域住民や任意で選ばれた民生委員さん、児童委員さんは互いに協力していく努力をし、より住みやすい町づくりをされております。むしろ努力や互いに支えあう協力をしないのは、アンケートを送りつけた市役所、行政機関、福祉団体であると考えます。近所の社協は実際何をしているのか分からないし、地域との交流をする気持ちもない。小中学校(校長や教頭等の役職組)は児童の問題(不登校の生

		徒等)を民生委員、児童委員に丸投げ。解決していない問題でも「解決した」と嘘をつく始末。市役所支所に関しては手前のサービスを理解していない体たらく。協働を推進する前にアンケートを送る前に、あなたの方がまず努力をすべきではないでしょうか。安心して子供を学校にやれない、まともなサービスを受けられない、年をとっても安心して子供を学校にやれない、まともなサービスを受けられない、歳をとっても安心して暮らせない、こんな町に住まされている住民は本当に不幸です。私達の血税でほくそ笑みながらのうとうと生きている市役所職員・公務員を見ていると本当に腹立たしくてなりません。あなた方は地域住民が安心して暮らせるまちづくりをどのような意識をもって実現させるつもりでしょうか。意見をお伺いしたいです。
男性	30～39歳	去年母が自殺未遂をしました。助かりましたが1ヶ月間誰にも相談できず、出かけては死に場所を探していたようです。その間にどこかに身近にかけこめるような場所があれば、会ってくれたらと思っています。これが地域福祉の現状です。もっと目に付く、声が聞こえる地域福祉になってほしいです。地域ごとの民生委員の情報(連絡先など)を配布してほしい。
女性	50～59歳	地区の民生委員の方々は忙しいと思いますが、福祉を必要とする人達だけの訪問でなく、その近所の人々と話し合いを持って隣近所に”～さんはこういう状況です”と。手助けできる方は“気をつけてあげて下さい。～の場合はお知らせ下さい”など…。といった活動をされるともっと身近(近所)で支えあう活動が日常的なものになるかもしれませんと思います。
女性	40～49歳	大分うぐいす台地区は地域協力、子供会などとても充実していると感じる。他地域より新しく引っ越してきた時もすぐにわかりやすく丁寧に地区のシステムなどを説明にこられ、自治会に入りやすく協力体制も確立されている。活動も活発で小学校が近いので、そこを中心に見守りや行事も行われており良い環境で、住民の意識も高く積極的である。決して無理やりではなく、例えば定年退職で時間にゆとりをもった方々が支えて、次の世代に活動をつないでいくような体制である。いざという時には皆で動くことができる。ただ筑穂地区全体を見渡すと、高齢者が皆、感じていることが同じ、よく耳にするところでは交通手段(ふれあいバス)が合併で不便になったことである。通院・買物に困っている人ばかりでその点を改善していただきたい。必ず回答がほしい。合併により悪くなったことである
男性	40～49歳	学校、公民館など地域の拠点となる場所にボランティアなどが登録・連絡できるような仕組み。民生委員さんなどの研修の充実。福祉サービス機関を民生委員さん、ボランティアなどの意見交換会や交流会。地域住民による地域の課題の洗い出し。人の育成
女性	60～64歳	安心して暮らすことができるためのまちづくりは住民と行政等が協働することは十分承知しているが、現実には働くことが忙しく、なかなか上手く行かない。私の周りには一人暮らしの高齢者が多く、この方達は不自由さを感じながらも自宅での生活を希望されている。何とか手助けがしたいが、私自身にも余裕がない。民生委員さん等が頻繁に訪問をし、相談にのってあげてほしい。私もいつかは地域の方々のお世話ができるようになりたいと思っている。
男性	50～59歳	役場退職者が天下りで民生委員や相談員になっても何もかわらないと思います。新車の青の警告灯で見回っていますが、あまり目が見えていません。この方も役場退職者民生委員じゃないんですか。県市からお金が出ていますよね。おかしくないですか。
女性	50～59歳	町内には福祉委員がいますが、地域によっては1ヶ月に一度しか訪問しない所があるようです。私は訪問介護の会社をしていますが、利用者宅を週1度訪問してくださる委員もいれば、1ヶ月に1度しか訪問しない委員もある。私の町内(組内)に独居の方で自宅で倒れられ死亡された方がいます。10日位たっていたようです。高齢者宅訪問は1ヶ月に1度では長すぎるのではないのでしょうか。安否確認も兼ねて、特に独居の方の訪問は週に1度は必要ではないかと思う。それと介護認定の評価には疑問があります。本当に必要な人をきちんとした目線で調査してほしいです。介護度が高い人でもシルバーカーでウロウロしたりしている人がいます。きちんと調査してほしいものです。本当に必要な人ほど利用できない人が多いようで

		す。
男性	60～64歳	自治会を中心に行政との連携を強める。民生委員を増やす、資金的援助も必要、また行政は自治会、ボランティアに頼りすぎない事。
女性	60～64歳	我が家の近所の方々は今昔から住んでいる顔見知りが多くて、それも高齢者が多いです。ところがここ最近、若い家族やひとり暮らしの人が住みはじめてそれも顔も見たことがなく、何をしている人なんだろう？と近所の方々時々話をします。やはり知らない人がいると不安だし、隣組にも入っていないので困ります。強制的でも隣組に入るように出来ないか…と思いました。実際隣の家の人が夜中、警察沙汰を起こしパトカーで連行されたりして(全然顔を見たこともない男の人です)、近所の方々ともども恐い思いをしました。
男性	65～69歳	町内会単位で高齢者が集う場所、行事を提供してほしい。行事は趣味の講座(健康体操や書道、絵画、カラオケ等)又は茶飲み会等
男性	75～79歳	最近、自治会への加入者が減少傾向にあり、つながりが希薄になっている。高齢化がすすみ、地域隣組での催し、行事が出来ず連帯がバラバラになっている。自治会長、民生委員、福祉委員等に関係してある人はボランティアではなくそれなりの報酬で意識を高めては。
男性	75～79歳	年寄りが多い地区でもあると思います。もう少し年寄り二人の家を、訪問して様子を見てください。段々歩けなくなると足元が良くありません。民生委員も気をつけてもらいたいと思います。
女性	65～69歳	市、社協、民生、自治会等各団体の連携が取れてないため、連絡事項が住民に伝わりにくい。市役所、福祉関係でも似たような仕事をする係が多すぎて分かりにくい。まとめられる所はまとめて簡素化してほしい。市・中心部ばかりに目をおかず、外れている地域のことを忘れないでほしい。
女性	50～59歳	後期高齢者の母と同居しています。現在母は、福祉委員をしておりますし、70代になっても婦人部の役員や民生委員をしておりました。なので、市の福祉について少しでも私に知識や関心があるのは、母の話を聞いて生活してきたからだと思います。私がもし一人暮らしであれば、まだ福祉に関心を持っていないかもしれません。(今のところ不自由がないので)。自分が実際困ったり、出会ったりしないかぎり、あまり積極的に福祉を調べたり学んだりをしない人がほとんどではないでしょうか。高齢の母がいろいろと活動をしているのを見ていながら、私自身は地域に何の貢献もしていないし、ボランティアもやれてはいません。時間的に余裕がある世代にまかせてしまっている状況です。考えを反省することができました。最後になりましたが、バス路線の廃止が多く免許を持たない年金暮らしの方たちの移動手段がタクシーだけになっていることはとても大変なことだと感じております。
男性	80歳以上	民生委員、児童委員がおられるようですが、どなたが民生委員、児童委員か名前も顔も地区全員知らないのが実状です。民生委員の方は地域福祉の中心的存在であると思う。地区内の生活弱者の家庭に年間数回は友愛訪問、安否確認すべきです。訪問される姿を見たことも聞いたこともありません。そんなことでいいのでしょうか。
男性	50～59歳	孤独死をなくしてほしい。ご老人が気やすく相談できる場所を提供してここに行けば話を聞いてもらえるところを数多く設置して、しかもご老人に知らせておくことが大切ではないでしょうか。地域ごとにできるだけ多くの窓口を設けてほしい。ご老人はどこに行ってもどうしたらいいのかがご存知ないのではないのでしょうか。それには各地域の大勢の方のご協力が必要だと思いますが、お年寄りの声を聞ける場所をたくさん設けるよう努力してください。
男性	70～74歳	民生委員は気軽に相談しやすい人格を見てきめてください。
女性	50～59歳	孤立死が多いので、ご近所の声かけや民生委員の訪問など頻繁にやってほしい。

女性	20～29歳	近年、持ち家で長年地域に定住している方にも自治活動(子供会、町内会)に参加されない方、もしくは脱退される方が増えてきた。子ども会費、町内会費の負担も無く、町内活動の負担もなく近所とも関わらず…というのはいかがなものか。脱会の理由として、役員などの活動負担回避が多いようだが、そもそも任意加入であることに問題はないのだろうか。誰もが脱会を希望することとなれば、地域活動は益々衰退していくことであろう。地域の子ども達や老人を守り、清掃活動などにも積極的に参加する方々がこのままでは加速して減っていく不安を感じてならない。
男性	80歳以上	私は老人会の役員です。過日小川係長に同行し「老人クラブ会員加入促進推進運動の会員増員運動のため、自治会長さんに協力をお願いしたい。現在のように老人会は絶滅する。戦後活発だった婦人会のように…」。
女性	60～64歳	何年も前から思っていたことですが、住民運動会をやめて、盆踊りを学校の運動場で地域のみなさんですれば、お年寄りから小さな子どもさんまで参加できて良いと思う。県外に15年ほどいたとき、体験して、お祭りのように楽しかったので。

【地域との関わり、近所付き合い】(17件)

性別	年代	意見
男性	65～69歳	10年後も元気であるかわからない。1940年の隣組に似たいところだけ活かした組織を作ればと思う。
女性	70～74歳	隣人に対しての苦情等、同じ意見で困っていても困らせている強い人の機嫌を取る人と様々なので地域に全く関係のない人に相談できる所があれば助かると思います。本人に直接苦情をいって反対にこちらが弱い立場になって仕返しされてしまいます。
女性	30～39歳	バイクの音や改造車の音がうるさい所は積極的にパトロールしてほしい。なくしてほしい。近所で協力したい。
女性	40～49歳	昔ながらの組内がある所にいるので、今は義父母がしています。しかし、アパートなどでの住民同士のつながりが心配です。特に子供に対して。昔はどの子に対しても近所の人がかまってくれたり、褒めてくれたりして見守ってくれました。そんなまちづくりが今は薄くなってきています。子育ても難しい時代、子供も変わってきています。ますます孤立しているのではないのでしょうか。
男性	30～39歳	町内会等、地域ごとに小さな区域でコミュニケーションを十分にとり、それぞれの地域で行う活動を基本的に必要に応じて行政が手を貸せばいいと思う。身近な問題はそこに住む人が中心となり解決していくべきと考える。
女性	60～64歳	近所同士で注意しあうのが一番良いのですがなかなか難しいことですね。ミニパトカーが巡回してもらっているのが心強く思っている。回数を増やして欲しい。時々止めてお話ししてください。役所の方々の態度が大きいのは直りませんね。挨拶運動不足、目につきます。オアシス運動型ばかり？
男性	50～59歳	住民集会等の会合があればみんなが参加しやすくなると思います。
男性	65～69歳	向こう三軒両隣のネットワーク作りから町内地域の拡大支援のお手伝い。
女性	65～69歳	朝とか晩に挨拶をし、近所の人とはちょっとしたことを話せるようにしたい。

男性	40～49歳	今の時代、隣と挨拶を交わすのも稀だ。他人に干渉しないのが当たり前になってきているようで、行事をやるにしても誰も参加してくれない。子供会、青年団とかを活発に行うようにしていけば親も出てくるはず。地域で祭りを企画し子供たちと青年団を中心に準備したりして5年10年先を見据えて活動していけたらどうだろうか。
女性	40～49歳	高田小学校がコミュニティスクールになり、地域と学校、保護者が一体となって学校を運営するという体制が始まり数年が過ぎましたが、何か行事がある度に忙しくて大変だと思ってもありますが、子どもたちはみな素直で生き生きと楽しそうで交流が頻繁なので地域の方の顔もだんだん憶えて、挨拶も欠かしません。子どもが地域に守られている感じがあり、学校の登下校も以前よりは安心できる様になりました。子育てや日々の生活は地域とのつながりが大切という事が最近特によく感じる様になりました。基本的なことかもしれませんが、まずお隣さんから…ご近所づきあい、自治会…などの地域の密接な関係から始まるのかな？と思います。
女性	50～59歳	生活していく上で福祉団体又は行政との距離を感じます。まずは身近なところで例えば小中学校の空いている教室等、今空いているスペースを利用していつ何時でも自分の足で歩いていける範囲内で相談できる場所や、福祉、ボランティアに参加できる場があればより身近に気軽に住民と福祉、行政のつながりももてるのではないかと思います。飯塚市の一番の施策としてはまずは身近なところでの相談窓口の充実を希望します。
男性	75～79歳	現在、近所づきあいを大切にしていますが、昔と今では付き合い方がさまざま変わりしているように思われる。それぞれ個人の生活があり立ち入った事はしない様になってきています。高齢者の方や健康面に心配がある方々が近所にいますが、家族の人が一緒に住んでいますし、緊急事態等よほどの事があれば手助けをしたいと思います。日々の日常の中ではなんとなく見守る事だけがしかできません。例えば実際にあったことですが、近所の高齢者の方を何の損得抜きでお世話していてもたまに来た親族の人に疑われ嫌な目を見たという話等を聞くと何も出来ないと思うようになります。近所付き合いをあまりしない人もいますし、自治会の活動が役員の方だけの方向に行きますし、みなさんの関心がなくなっている様に思われます。何にしても他人の事をするのが難しくなっています。
女性	65～69歳	地域住民の横のつながりが一番大切なことだと思う。しかし往々にして一人暮らしになった人は頑固として助けを受け入れようとしない。プライバシーとの関わりもある。とても難しい事でもある。福祉は静かに側面から見守る姿勢が大事。そしてどの程度の福祉が可能か、研究課題でもある。全体に行きわたる福祉が望まれる。
女性	60～64歳	困っている人に手助けをしてポイントを得、自分が手助けして欲しいときにこのポイントを使える住民相互の協力関係。会員登録をしてどんな事が出来る、して欲しい等の調査が必要ですが。
女性	65～69歳	私が現在住んでいるところは、柏の森スーパーの近くのアパートですが、全く顔を合わすことなく引越してから下の方と2、3回言葉を交わしたくらいです。はっきりいって隣の人がいつ病気したのか、亡くなったのか、引越されたのか全く情報がないのです。やっぱりアパートとかマンション暮らしはそんなものですね。昔、蓮台寺…八木山の手前ですが、18年程住んでいましたが、一戸建ての家ばかりだったので近所の人との付き合いもあり、組が26軒ほどありました。集会場所がいつも公民館で炊き出しをしたり、人と人の温かい交流がありましたけれど、今住んでいるようなアパートは隣の人の顔さえわかりません。仕方がありませんけど、みんな1人暮らしです。

女性	30～39歳	大きく見て福祉というものがどれだけ今の私達の世代に関係しているのかがよくわからない。高齢者の方や障がいがある方の事だけだと思っていました。今は、本当にもうらうべき人が保護をもらっていなかったり、もうらうべきではない人がもらっていたりとか、私から見てもあいまいな点がすごく多いし、小さい子どもを持つ私達の中から見てちょっと心配な家庭などいろいろと早めに処置してあげてほしい。家庭の問題などを周りのみんなで助け合い、市の人たちも協力してほしい。私たちのように元々ここに住んでいない人たち(アパートが建てばいろんな地域の人々が来るので)は、自分の住んでいる地域については市報を見るくらいで、何も知らないの、若くて仕事をしている私たちにも参加しやすく、分かりやすいものが何かあればと思います。例えば町内会に入ったとしても家にほとんどいない私たちはなかなか参加しにくいから。
----	--------	--

【行政への不満や要望について】(21件)

性別	年代	意見
女性	50～59歳	ここ数年の自殺者の数が3万人という人数にショックを感じています。生活保護は本当に必要な人に差し上げるべきものであり、その保護費でパチンコやレースなどギャンブルに使うなど絶対に許すべきではありません。生活保護をやめて仕事しても、保護費の方が多くて働くのが馬鹿らしいという事をよく聞きます。そんなチグハグな行政はやめるべきです。こういうことをなくすために、もう少し行政力を強めるべきだと思います。一人でも自殺をする人が少なくなり皆が笑顔で暮らせる世の中が訪れるように願わずにはいられません。
女性	50～59歳	老後、女性で一人暮らし及び年金生活を送っていくには、金銭的な不安が一番である。入所を考えて、家族(子供たちへの)負担をかけないように思っても費用が高く、入所もできないように思える…身体が動くかぎり働き、その後は少しの年金で生活を送り、女でありながらきちんと働いてもらえる額はわずかであり、働けなくなったら死んだ方が良いのでは。死ねと言っているような市の福祉である。病院にかかるにもお金がかかり、全てにおいて、老人に対して安心できる要素はない福祉といえる。生活保護でもらえる額の方が、最低な年金より多く、働いて少しの給与からずっと厚生年金や国民年金を払ってきた。最低ラインの人達には、何が正しいのか？意味不明である。働かず年金も納めず、保護を受けたほうが得とさえ思える。ボランティア→？、民生委員→何もしない人？誰も知らない人、自治会→組費を集める人、行政→全てにおいて難題は無視する組織、福祉→老人を苦しめる事？ 地域、役所職員→人の事を言いふらす広告塔！信頼できる人？役員や職員にはいないと思える。
女性	30～39歳	何か自分もできることがあれば、ボランティアなどに参加したいとは常日頃思っていますが、仕事がメインでなかなか自分から情報を得て参加するまでにいかないのが現状です。また、地域の方(近所の方)もこの地区に住んで日が浅いこともあり、よく知る人もいれば全く名前もわからない人もいます。災害ということを考えた時、お互いに協力しあえるように、話しあい場をきちんと設けるのも大切だと思います。その時には行政の方にも加わっていただいて、地区としての決まりをしっかりと確認して、連帯感を高めることが大切だと思う。
女性	80歳以上	日本で一番住みよい地域を作ってください。
男性	20～29歳	飯塚市職員、市長、議員の給料ボーナスを下げろ。その金を福祉、その他に回すともっと地域は良くなる。公務員は優遇されすぎている。自分は派遣で月給は12万しかなく結婚もできなく人生の計画も何もできない。
女性	40～49歳	飯塚市役所に用事があり、度々伺いますが、態度の悪い方、順番を待っている方が多いにもかかわらず、職員同士で見て見ぬふりをして談笑している場面に多く遭遇します。職員の意識向上を求めデリカシーのない職員の教育を強く願います。飯塚市の職員の質がこんなにも低いものとは思いませんでした。

		以前、住んでいた市の職員はとても対応が良くこちらに移り住んで一番驚いたのは飯塚市職員の対応と態度です。
男性	50～59歳	行政の長期的展望に立った政策が望まれます。
女性	65～69歳	行政の対応が討論ばかりで、しかも結果が先送りばかりで信用できない。飯塚市が十分な力をつけて毎日の生活が充実するような市にしていきたい。福祉団体は窓口でもっと気軽に相談できるような環境を作っていただきたい。アンケート調査よりもっと自分の足で情報をつかんでほしい。
男性	70～74歳	市職員の質的向上が最優先
女性	50～59歳	行政も企業も個人も助けあいの精神、他人のために尽くすことが一番尊く、仏様は人の心の中にあり、それに気づいた人が外に現し行動していくことが良い世の中になると思っています。今、離れ暮らしている高齢の親のため、自由に使える時間が少ないですが、自分で出来る範囲の小さな社会奉仕活動は一人でしております。不正はいけません、本当に困っている人には暖かい援助を行政にはお願いしたい。特に接する方の上から目線の言い方をしないよう、親身になって相談に乗っていただき、血の通った言葉で対応していただきたい。
女性	30～39歳	児童手当の現状届を提出しに行った時の市役所の担当の人(男性)が感じが悪くて、困ったときに相談しようとかいう気になりません。親身になって話を聞いてくれそうな気がしないです。
女性	40～49歳	自分の事は自分だけの世の中にしらけてる人が多すぎるし、熱くこちらがいうのもアホらしくなる。役所の方へマニュアルどおりでさばけてないので、あなたたちが動いたらどうですか。
男性	50～59歳	このアンケート自体が民主党政権下の思惑だと思うのですが、アンケートを収集してどうするつもりなのか理解できない。国家が貧窮している。今、国民は国がなにかしてくれるとは思っていない。社会福祉など言っている暇があるのなら(このアンケート費用)。もっと市役所職員の人員を減らし、そしてサービスの向上を(具体性に実話)。以前、国保の窓口でさんざんな目にあつた。職員の女は私の問いに対してそれは普通ではありません。あなたのケースは特別です。市は特別に対処しますからという文言をはきました。私は怒りました。キサンと思いました。役所の人間は平均年収以下の人を…。あんな人間を窓口にいる市は最悪です。時間がかかる人もいるでしょうし、大変なのは分かっているけど役所の窓口があれば怒りがわきました。
男性	50～59歳	言葉だけでなくあなた方が率先して行動を。住みよい町づくりの提案など、心のキャッチボールをする事が今一番大事なのではないでしょうか。その時だけでなく日々の行動が大事ではないでしょうか。言われてアクションをするのではなく、率先して行動を…(市民の生活を)第一に考えてください。
女性	75～79歳	学校は一步でもわかる取り組みで頑張っていると思いますよ。役場や市役所では課の人数が4～5人の中に課長に係長が一人ずついる。働いている平職員は3～4人が頑張っている。4時半になったら荷物をまとめて5時になったらただちに役所からでて帰っている。それからボランティアを始めたらどうですか。家庭を持ち、仕事から帰り、食事の用意、洗濯、掃除、子育て、老人の面倒をみて、そのあと民生委員の仕事、高齢者の独りのところを回り、無事かどうかの確認をするなどを調査したものを提出。提出したものは通らない。必死でまとめたものが役にたたない。これを市役所や役所の議員が回ってすれば時間内にできるやないですか。こんなにたくさんな項目をかかげてだれにさせようとしているのですか。むだむだ。この調査が人事のように取り上げられ私たち庶民になぜさせるのでしょうか。あそこの道を作った図書館を作った、学校を建てたなどは資金だけをとってくればできる。人間の育成のほうがどれだけ大事か。課長や係長、教育委員会なども常に学校の〇〇問題の解決をされてはどうですか。結果のまとめばかり作成して、県に報告する仕事だけしかしていないじゃないですか。問題が起きてからではだめでしょうが。
女性	50～59歳	先日、飯塚市役所(本庁)の障がい者福祉課へ行くことがありとても不愉快な思いをしました。男性職員の対応が女の私が殴りたくなるくらい腹がたちました。それでなくても福祉課はこちらからいろいろ尋ねないと教えてくれないといろいろな人から聞いていたけど本当でした。それからは本庁の窓口は利用せず、庄

		内や穂波を利用しています。庄内の方々はとても親切に対応してくれます。主人が障がい者になり私自身も右半身に運動障がいがありこれからいろいろお世話になることと思います。本庁の福祉課が思いやりのあるありがたいと言える親切な人が配置されることを願います。
女性	40～49歳	市民にとって暮らしやすい飯塚市を目指して。現場の声を聞いていただける組織づくりを行ってほしい。
女性	40～49歳	節目の頃になると、事前に町内放送があり、あの痛ましい戦争を風化させない取り組みは大変良いと思います。戦後生まれの者は語り継いでいく義務があると思います。地域福祉問題に関連しないかもしれませんが、税金のことについていろいろ疑問を感じます。飯塚市の市民税の30%は生保者へ使用されていると聞いたことがあります。本当に必要な方々(障がい者、高齢者、病弱者など)に使われるのは構いませんが、そうでないように見える人(偽装離婚、高級車に乗る、健康なのに働いていないなど)に同様に使われるのは納得できません。以前、テレビで不正受給者への調査の様子を見ました。飯塚市役所の方も精一杯お仕事されていると思いますが、このような点も含めて取り組んでください。
女性	20～29歳	福祉団体、行政等に知り合いがいれば高レベルの支援が受けられるということだけではなくしてほしい。市議の知り合いが一番という飯塚市であってほしくない。帳面けしのような家庭訪問もやめてほしい。一部のだらしのない人のおかげで飯塚市を出たくなるような情けない市には何が大事か職員の方がちゃんと考えてほしい。
女性	20～29歳	筑穂支所や各公民館の職員の態度が悪い。
男性	70～74歳	人の心の痛みの分かる優しい笑顔の人たちが役員になったら、だれもが安心して相談できる。安心して暮らすことが出来る。そんな飯塚市にしてもらいたい。市役所職員、市会議員に率先して望む。職員議員が先頭に立ってやれば必ず市民もついていく。喜んで福祉活動に市民が参加すると思う。今のところ先頭になっているとは思えない。市民の心に通じない。一部の人たちだけが職業としている。ボランティア、地域活動に全く見えない。

【公共施設・交通機関等について】(21件)

性別	年代	意見
女性	70～74歳	近くに子供がいても子供たちは仕事に出ていきます。私達歩くのもあまりできず、バスも福祉タクシーも利用できないなんて。不便な所にもっと手を伸ばしてください。
男性	30～39歳	地域防犯力が低下している。24時間警備(パトロール)を徹底してほしい。若年者による犯罪が多発している。上記に併せて強化してほしい。高齢者の外出(買物、通院など)の交通機関が不足している。
女性	80歳以上	82歳の老人です。市民病院に通院や救急車でりましたが検査のデータが悪くないとの理由で精神的医療科に行けと言われ、追い出されました。息が苦しいのに他の病院で検査して喘息による呼吸困難とわかり医者にしても看護師でも患者を馬鹿にしています。遠いところで足が悪いのに、タクシー1台もままならず、(年金月4万程度)困っています。死ぬだけです。選挙も飯の山は高い所です。階段があり、棄権せざるを得ません。乗合の車(シャトルバス)をバスセンターにも用意してください。飯塚病院は近いけど一杯で断られます。
女性	80歳以上	私達老人が住みよいまちづくりとは、一番に交通の便と思います。年をとって車を手放した途端に、今年のコミュニティバスの時刻表には途中のバス停もなく、本当に呆れています。家の前をバスが走っているのに止まらないので買物にも病院にも行けません。先日、桂川駅からイオン行きに乗るのに駅で一緒になった桂川町の人のお話ですが「桂川は住民のためになる福祉バスがありますよ。」それは店の前ではほとんどが止まるようになっていて、それも無料だそうです。飯塚市と合併して我々にとって何が良かったのかな、と思う毎日です。私達の事など全くわかってもらっていません。乗合タクシー・バス等利用しにくいです。自治会長経由で利用者のアンケートをとって作るべきではなかったでしょうか。人家の多いところにはバス停を作ってください。

男性	50～59歳	教育、福祉、医療等をミックスにした総合施設の設置、(例)幼稚園、保育園、小学校、中学校、老人ホーム、総合病院、児童館、福祉館、公園等を一箇所に設置する事により、地域住民が協力しやすくなると思う。
女性	75～79歳	今は車に乗って食材購入と病院行きは運転できるので行けます。もうすぐ年齢的に車に乗れなくなったらどうなるのだろう。ととても不安です(バス停に遠いので)
女性	70～74歳	75歳の一人住まいしています。毎日の食事の為の買物に鶴三緒はふれあいバスがありません。1週間に1回買物に行きますが帰りはタクシーを利用しています。お金はもう底をついています。
男性	75～79歳	西鉄バスの運行中により高齢者等の外出が不便になっている。市が運行しているバス等は支所、駅、市役所、市内商店街への直通がなく遠回りするため便利が悪い。一回数本でいいから直通の定期便を運行していただきたい。
女性	60～64歳	福祉バスなどおたくちが乗って何時に病院につくか調べてバスの運転をしてほしいと思う。
女性	75～79歳	私の属しているボランティア活動は老人センター(筑寿苑)で行っております。しかし、この施設は平成26年までで後は使えなくなります。今では、フラダンス、踊り、カラオケ、編み物その他グループ活動もあっていて、とても楽しく憩いの場としても大切な場所です。しかし老朽化により雨漏りでトイレが使えない状態で、もう修理してもらえませぬ。こういう施設が飯塚市にはたくさんあってやがて大切な福祉施設がなくなっていくでしょう。私たちのグループに96歳の方がおられます。このグループにとってなくてはならない方です。この活動日には「この日は楽しくて病気も吹っ飛ばすですよ」と出席されます。しかしふれあいバスがなくなり予約タクシーもいろいろ面倒で電話がかけづらいと言われていました。こういう場になると会話が弾みお互いの気遣いもでき、知らないことも学び合えるし本当の助け合いができるのです。そんな大切な場所をなくさないでほしいと思います。
女性	70～74歳	高齢者等、認知症とかならないような仕組み。例えばカラオケとかゲートボールとかもって住民が楽しく暮らせる様な場をもっと沢山作ってほしいです。交通の便が以前よりも悪いので病院行きとか買い物とかに行かれる高齢者の方等もって交通の便を良くしてほしいです。
女性	70～74歳	小さな地域ですので運動する場所がない。私どもが近くで出来る広場(グランドゴルフ)今まで川のそばでやっていましたが、今度の雨で使えなくなりました。直すには大変なお金がかかるし、また大雨が降れば潰れてしまう。今までは毎日していましたし、草が生えれば毎日少しずつ取ってやっていました。それも私には楽しみでした。
女性	70～74歳	一人暮らし高齢者の方が腰を曲げ、買い物袋をぶら下げて歩いている姿を見て、私も高齢ではあるが元気なので助けてやりたいと思いますが、余計な事と思われるかもと考えてしまい手も口も出すことができません。福祉の方が一人暮らしの方に常に気を配っていただき、第一にふれあいバスが無くなったことを不便がっている方が多いですが、高齢者への締め付けの様に思えます。私も今、70歳ですので、高齢者が安心して暮らせる福祉行政を作してほしいと思います。
女性	60～64歳	死んだ母が一人暮らししていたとき、古新聞のダンボールをまとめてタクシーで出かけるときに集める場所に持って行っていました。私たちが年をとったらタクシーでもっていかなければならないのかなと思いました。ふれあいバスの停留所が近くにあって年をとって車が運転できなくなったら、これに乗ってでかけられるなと思っていましたら、予約タクシーになりがっかりしました。
女性	40～49歳	福祉バス等の数を増やしてほしい。車イスの人でも安心して外出できる様な街づくり(バリアフリー)。若年性のアルツハイマー者が増加しているように感じる。専門性のある施設作り(症状の進行防止や機能向上に向けて)。義務教育の教材費の無料化。学生の通学時のバスや電車の料金の補助があれば良いと思う。
男性	65～69歳	①障がいのある人や一般の人々と一緒に防災についてどのような方法があるのか勉強してほしい。また

		災害が起こったとき支援してほしい。②道路で高齢者が倒れたとき、その方が、聴覚障がい者でコミュニケーションが取れない場合、すぐ救急車を呼んでほしい。③バリアフリーに力を入れてほしい。(具体的に例えば、JRや電車やバスが不通になったときお知らせ掲示板など。④公的機関の場所がわかるように駅などから点字ブロックを作って欲しい。⑤飯塚市民も13万人に増えたので、もっと雇用問題にも力を入れ、雇いいれできるように会社を増やして欲しい。⑥何らかの災害が起こったとき、聴覚者、障がい者関係なく支援活動したい。
女性	20～29歳	社会的に弱い立場にある人の情報をその人のまわりの人(地域の人、支援する団体)と行政とが共有して、支援が必要ときに早急に対応ができるようにしたら良いと思います。地域の公共施設をユニバーサルデザイン化した施設へと変えていく(充実させる)ようにしたら良いとおもいます。
男性	60～64歳	大分小学校跡地がながい間空き地になっていますが、利用法はないのでしょうか。幼時からお年寄りまで遊べる(運動できる)ような設備をつくってもらえないのでしょうか。子ども達は(特に幼児)が安心して遊ばせるところがなく困っています。旧筑穂町にプールの設立を是非願いたい。そんな傷んでいない道路の補修をよくみかけるがその予算を福祉の方に回してほしい。合併して町民の暮らしは予算の減少(子ども会・自治区など)やゴミ袋値上がりなど何も良い方には向いていない。
女性	80歳以上	筑穂町の頃は、日に何回かたしかふれあいバスとかいってあまりお金のかからないバスがあったと思います。みんな便利がよくて町中にぎやかに買い物に行ったりカラオケに集まって、友だちもいっぱいありました。飯塚にも気安く行けるようなバスがあると年寄りもみんな元気になれそうです。よろしくお願いします。
女性	70～74歳	飯塚市合併して良くなったところなし、穂波町は福祉バスも料金もいるし乗り場は遠くなるし。
男性	50～59歳	無料ジャンボタクシーとか(市が負担)病院などにいくのに巡回で市側の負担を増大してほしい。巡回バスの本数が減り、飯塚市に合併されるからだよ。

【相談窓口の設置・充実について】(15件)

性別	年代	意見
女性	50～59歳	流れがわかりやすくなれば良いと思います。1つ1つ聞くのではなく説明する人(専門)の存在をわかれば、手続きもスムーズに行くと思う。「〇〇のケース→〇〇(どこどこ)にTEL」みたいなものを具体的に作ってほしい。
女性	40～49歳	いつでも心配事等相談できる窓口。障がいのある方々の声を聞き、ボランティア活動できる方の呼びかけ。ボランティア活動したくてもいつ、どこで、何が必要かがわからない(何月、何日、いつ、どこで)。一覧表で早めに回覧してボランティアに参加しやすくしてほしい。地域住民が健康で楽しく過ごせるよう、昼間、夜との2回にわけ健康体操や栄養指導等、健康に関心を持ってもらうようにしてほしい。(例)体操、ヨガ、ダンス、食事や病気に対する栄養指導、参加費用は低金額または無料。
女性	20～29歳	何よりもまず弱者が孤立してしまうことを避けるべきだと思う。そのような人に誰かが手を差し伸べ、またその人自身が手軽に相談できるような相談窓口を設置することが必要だと思う。
女性	80歳以上	代筆者の意見です。母も主人も障がい者です。主人は今でこそ障がい年金のサービスを受けておりますが、病院、役所、社会厚生年金からは何も福祉の話は聞かされませんでした。知り合いの介護士の方から障がいのサービスを受けられると聞かされ手続きをとりました。身近なところでの福祉の相談ができる窓口の設置を希望します。
女性	50～59歳	個人情報を守られ個々が安心して生活できるように信用、信頼がおける人物の配置。今の状態(テレビである相談をしたが受け入れてくれないとか)何を信頼信用してよいかわからない。しっかりと住民の話に耳を傾けてほしい。

男性	30～39歳	相談窓口の充実及び相談員の増員等が考えられます。しかし、限られた予算ではなかなか進展しないのではと思う。人材にしても一朝一夕で育成はできませんから、5年計画などを立案して政策に反映させてみては。
男性	65～69歳	問28の重複になりますが、誰もが安心して在宅で生活したい。身近なところで福祉の相談ができる。一般的に年齢を加算していても、健康なときや夫婦二人暮らしの時等は日頃気になりません。しかし、病気や一人になった時等に大きな不安を感じると思います。意外な事にその立場になった人に尋ねると誰に相談したらいいのか？また、その存在自体を知らない。考えたことがない等。まずは困った時に相談できる、例えば111番の電話窓口の設置を望みます。いわゆる高齢者のよろず相談です。相談窓口が容易に使えること、このことが一番の情報源だと思う。
女性	80歳以上	24時間の社会変化と世間が不景気の中で世帯の職業も千差万別で、超高齢化及び少子化が加速する現状において、行政はもちろん、地区住民にも期待できないのが現状で前回のアンケート調査結果が反映されていないように感じます。今言えることは介護が必要になった時や社会福祉等で相談する所がないことです。行政も平日昼間のみで、5時以降は一人暮らしの者は相談し対応してもらえるかが心配です。休日・祝日・夜間においても最低でも「電話相談及び関係する申請書類等」を送付していただける仕組みを早急に作成していただきたい。それが真の福祉のあり方ではないでしょうか。パソコンで打った綺麗な見せかけの書類や見せかけの言葉は必要ないと思います。
男性	40～49歳	安心して相談できる窓口や担当者がいるといい。
女性	60～64歳	認知症の人の相談は専門職の資格のある人がやるべき。
女性	40～49歳	誰が相談に行ってもわかりやすく説明してほしい。回りくどくじゃなく、的確にしてほしい。一か所で相談が終わる様にしてほしい。たらい回しにされる時がある。
男性	65～69歳	住民、福祉団体、行政が連携して実施に至るまでの①相談窓口から②意見の収集③実施方法の検討④実施に関するネットワークの構築が必要だと思います。現状でも何らかの方法はあると思いますが、解決までの日数が素早く行われることが必要と考えます。
女性	20～29歳	安心が家族によって得られるとは限らない。安心して暮らすために相談窓口等を設けていたりするが、そこに相談をするまでのことかの判断が出来ない人もいるし、精神的にハードルが高いと感じる人もいると思う。結局のところ人を中心に動いているので、人の気持ちそのものや考え方が変わらなければ意味がないので、凄く難しい問題だと思う。意見を求めてそれを見て、今まで正しいと思っていた事に対して疑問をもって、若者やこれからの時代を作る子どもたちに接してほしい。このアンケートを読むことから始めてほしい。それが出来ないのなら、こんなアンケートは無意味だと思う。
女性	70～74歳	高齢者は一人での生活をしている人が多くいます。近くに相談される所。また相談員がいると助かります。福祉サービスのできる場所、入所施設を多くしてほしいです。
女性	40～49歳	窓口を対応される方は話しやすい方であることが一番大事なことだと思います。その印象であきらめたり、1人で抱え込んでしまう…こともあります。本気で推進をお考えならそういう方をぜひ窓口にお願ひします。そして自分の身近な人に重ね合わせて考えられる想像力をもって頂きたいです。

【高齢者、障がいのある人の福祉について】（16件）

性別	年代	意見
男性	40～49歳	社会的弱者（適切な言葉ではないかもしれませんが）に対する、自立支援の取り組みを創造してもらいたい。「ほどこし」ではなく「自立支援」を…
女性	60～64歳	最近は大きな施設ができている（グループホーム+デイサービス）。大きくても気持ち的にゆっくりできない。小規模でゆったり、楽しく過ごしてサービス受けられる所、今日は帰りたくないから処々に泊まるなど

		できるような施設があるといいですね。
女性	60～64歳	一人暮らしのおばあさん(85歳)が家の前ですが介護は受けておられません、すぐ忘れたり、テレビやクーラーの使い方を(今まで使っていた物ですが)いくら教えても、またつかないといって来られます。娘さんが時々来られますが、遠いので毎日とはいきません。体は元気なのですが、遊び場所がないのも人との交流がとれますので、頭の回転もにぶくなるのではないのでしょうか。出来れば公民館とか歩いて行けるような場所で週1～2回老人の集会など開かれたらどうでしょうか？何か催し物でもしたら良いと思います。
女性	50～59歳	当事者の方々の声を反映することが第一だと思う。
女性	50～59歳	近年高齢化が進み、高齢者の一人暮らしが増えているとともに、認知症等による高齢者の暮らしの不安が増していると思われる。介護保険制度は考え方としては間違っていないと思うが、現実には高い保険金を収めているわりには充実した内容のサービスが受けられていない。年々認定は厳しくなり、サービスが受けにくくなっている現状は見逃せない。介護保険は市だけの取り組みではないが、何か別の形で高齢者が住みよい環境づくりができないものだろうか。団塊世代が高齢者となるのも目前であり、国や広域連合、県とは異なる形で飯塚市として高齢者福祉に取り組んでもらいたいと思う。
女性	65～69歳	65歳ですが朝から夜まで仕事しています。一人でアパートに住んでいます。まだ福祉のことを考えることができません。食べていくのに大変です。年金も5万しかありません。70歳までくらい働いて(元気であれば)その内福祉にお世話になるかもしれません。福祉の仕事されてる方大変だと思いますが頑張ってください。
女性	80歳以上	現在は介護の支援がありますが、住民の方に頼めないのが現状です。
女性	30～39歳	子育て(入園前)の遊び場が少ないのもっと気軽に利用できるよう、多く増やしてほしい(屋内、屋外共に)。介護保険について祖母が利用しているが、いまいち利用しても制度について理解できない事が多い(保険料や負担について)。発達障害児(者)LP、ADHD、自閉症等に対する早期療育に力を入れて欲しい。訓練のできる所を増やしてほしい。協働を進めるためには、市が主体となりリーダーとなり積極的に関わっていくこと、ニーズを聞くことが大事だと思う。苦情やニーズに対して対応できる力をつけ、頼られる市政にしてください。
女性	50～59歳	人口の高齢化に伴い、これから益々福祉の活動が求められると思います。今以上に深く活動分野の拡がりや対応を期待しています。1人1人が高齢になったときに安心して暮らせる地域づくりを切望します。
女性	50～59歳	家族、身内に高齢者、障がい者がいないと本当の福祉は分からないと思います。ボランティアが出来るのも気持ちが分かるからです。健康、元気な方には福祉は通じません。でも必ずめぐって来ます。一つ一つ年をとっているんだから無理せず、今出来る事をさせて頂いています。
女性	60～64歳	老後を安心して暮らせる飯塚市であって欲しい。
男性	60～64歳	一人一人が安心安全で、より明るく人間らしく生きるための思いやり福祉であってほしい。老人介護施設などリハビリ終末医療等にも考え合わせ心温かい人材の育成や組織づくりが必要。悩みや孤独感の中にいる人は横のつながりをいつも感じさせてくれる。
男性	60～64歳	高齢者や障がい者のある方が安心してまた希望を持って生きていける福祉社会になってほしい。
女性	50～59歳	社会福祉サービスや援助を充実させることはとても良いことだとおもいます。ただそれには予算もかなり必要だと思います。今の時代高齢者の方々も所得の多い人もたくさんおられるのでそういう方から負担すべきではないでしょうか。若い人にお金の負担をかけるべきじゃないと思います。これからは高齢者の方にも出来ることは協力してもらうことは大事だと思います。予算がなければサービスや支援もなにも出来なくなると思います。
男性	20～29歳	誰もがという考え方をしているのはいつまでたっても方向性が定まらないのではないかな？もっと「60歳以上

		の高齢者」であったり「3歳未満の子ども」といったようにしっかりとセグメントに分けて考えるべきだと思う。
女性	40～49歳	いろいろとありますが、書いたところで改正されるとか実行されるとかの期待が見てない。家族だけの介護だけでは老老介護は共倒れするしかないと思う。本当に自分の立場でその人の目線で考えたり経験しないこと分からないことばかりだと思います。

【見守り・声かけ等について】（12件）

性別	年代	意見
女性	20～29歳	助けのない家庭や子育てでつらい思いをしてる方に定期的に連絡や訪問などアンケートなどで助けてほしい。どこに連絡していいかわからない人が多いので手紙で、アンケートみたいにしたら書きやすくなると思う。
男性	30～39歳	個々の相談や家庭の問題を把握するための聞き取り活動を民生委員など、ボランティアに任せず、市役所の課を作って学校の先生、学童の先生、保育園、地域のスーパーや店に時々聞き取りアンケートをするだけでも、地域の問題児や心配な家庭のことなどの話が聞けるのではないのでしょうか。そこから問題を1つずつ解決するため、家庭訪問をするなどしていくと、地域の人々が不安に思っていることがわかってくると思います。
女性	30～39歳	通学路の安全を確保してほしい。多々不審者情報が送られてくるので子供を一人で遊びにも行かせられない。通学(登下校)も心配。ボランティア(シルバーや自治会地域の老人など)が協力して通学路に立ってくれないのか。去年まで筑後市に住んでいたが、通学路には朝も昼(下校時)も地域の自治会の方々が立っていてくれたので安心できた。不審者情報もちょうよりも少なく、放課後も安心して子供が一人で友達の家に遊びに行けた。まずは個々の登下校の安全確保をしっかりしてほしい。
女性	30～39歳	高齢者の老人ホームなどの施設、療養型病棟が飯塚市は少なく限られており、行き場のない高齢者が多いと思う。地域の住民での対応はプライバシー等もあり、難しいと思う。もっとその部分の対策ができないものか？家族で見るのも限界もあるだろうし、お金のかかることになると思う。ボランティア等の気持ちはあっても受け入れ側の思いもあると思う。
女性	30～39歳	行政と地域とが協力しないといけないと思います。柏の森に来てから以前住んでいたところよりも地域活動が多い事に驚き、とても良いことだと感じました。子どもたちも地域の人たちに声かけをしてもらい、高齢者に挨拶をし、お互い存在を確認することが大切だと思います。
女性	30～39歳	孤独死や自殺など時々社会からポツンと孤立している家があります。そのような家に行政、福祉団体が関わり地域住民が見守りながらかわっていくことが大事だと思います。組織的にかかわる体制をつくり、そのような家もSOSが言える、SOSに気づけるということにしてほしいです。「住みよいまちづくり」ですが、答えは現場にあると思います。その声をどれだけ吸い上げられるかではないでしょうか。みんな困っていること、してほしいことあると思う。
女性	65～69歳	個人個人考え方がちがう場合があってもされる側とする側では立場が違うので、される側の意見をよく聞いてみて、本当にしてほしいことをみんなが考えて行動するのが良いのではと思います。する側の一方的な自己満足ではなく臨機応変で地域住民、行政などみんなが思う合う気持ちとすぐに行動できれば良いのですが…
女性	40～49歳	できるだけ小さい地域で状況、家庭を把握し声掛け、見守りを行っていく。困ったことがあればどこにどの様に相談したらいいのかわからない人がほとんどだと思う。
男性	30～39歳	自治会、子供会に参加しない方が増えています。これから先、何らかの対策が必要なのでは…。子供登下校の通学路の安全確保。呼びかけはあってもなかなか見守り等行われていないのが現実。不審者も多いこの時代、地域の方々の見守りで子供たちも安心します。また、交差点(交通量の多いところ)ではお

		まわりさんが立ってくれるといいと思うのですが。
女性	50～59歳	民生委員の方から聞いたのですが、個人情報保護法のために要援助状態にあるご老人の情報入手が難しいことがあるとのことでした。法律の柔軟な解決、適用が必要と考えます。(孤独死防止等のために)
女性	50～59歳	高齢者はインターネットを使わないし、知らない。家庭への訪問が第一です。
女性	65～69歳	大人も子どもも道ですれ違う時にあいさつをしても10人中、8人は無視、人間だけが言葉を持っているにも拘わらず、なぜ使わないのか残念です。知らない人にも困っている様子の人にも声をかける事で、たとえ解決出来なくても相手は気持ちが悪くなると思います。基本が出来ないのに市政が頑張ってもあまり効果はないと思います。すべては個人を尊重して強制や介入は程々にすべきだと思います。

【アンケートについて】(16件)

性別	年代	意見
女性	80歳以上	こんなアンケートを毎年しているけど行政等が介護支援者に一人一人に聞いていくぐらいの行動をしてほしい。
男性	70～74歳	飯塚市地域福祉計画を策定され施策を推進されたとあるが、その成果はどうだったのか。それらの成果をある程度知らされた上で第2期計画の策定のためであれば、ある程度近い線でアンケートに答えられたらよかったと思う。問31) 今までの成果が不透明であるため、2期計画はどのような方針で進められるのかわからないので、本件についての「どうしたらよいか」の意見等は難しい。新規計画を策定されるのであれば、ある程度の意見・要望は見いだせたと思う。
女性	30～39歳	NPO法人(民間)の促進によりレベルアップを図る。生活保護に関するアンケート質問が必要。アンケートを集計する予算と時間があるなら問30にある事をひとつでも実行していくべき。
男性	50～59歳	アンケートの意味が理解できない。行政サイドが必要と思うことをしっかりやってください。
男性	80歳以上	家族の者ですが、アンケートを高齢者へ出すのはいかがなものか。この費用は税金ですよ。字も見にくくなっている者にまでアンケートの必要がありますか。
男性	80歳以上	今回アンケート回答者の一人に選ばれたのも何かの縁があったのだろうと思います。なかなか難しい設問もあり迷うこともありましたが、頑張って全部終えてほっとしたところです。1/3000の回答ですが今後、飯塚市地域福祉の向上に少しでもお役に立てれば幸いです。
男性	60～64歳	こんな多量の質問をするアンケートで、何を調べ、どう活用されようとしているのでしょうか。費用も多額必要でしょうし、これを集計したところで何か見えてくるものがあるのでしょうか。あまりにも事務的すぎるアンケートのためのアンケートとしか思えません。これだけの費用、労力をかけるのであれば他に優先すべきことがあると思います。
男性	65～69歳	このアンケートの結果が生かされる事を望みます。失礼ながら公務員は業務の一環としてアンケートを行い、その結果を集約して終わり。このアンケートを本当に活かすことを考えているのか見ていきたいし、社会福祉係にも進捗や質問もさせていただきたいと思います。市町村合併前は穂波でしたが、役所としても人情味がありましたし、予算的なこと余裕もありましたが、飯塚市と合併し、行政のサービスは低下し、支払う費用は高くなっています。今さらながら合併するべきではなかったという気があります。新庁舎についても穂波地区に作ると文書にまで書載してあるのが反古にされそうとの事であり、議員や行政を当てにしない地域作りが大切だと感じていますが残念ながら費用の壁があります。3個の項目がありますが、どうして3個にしぼりこめますか。このアンケートが生かされることを切に望みます。飯塚市の社会福祉に希望を持たせてください。
男性	20～29歳	まだ若いので自分の生活で精一杯。結婚して家族を持たないと今の時点で実感わかない。このアンケート自体言葉と文章の意味が理解できない事もあった。

女性	65～69歳	地域福祉に関するアンケートに記入しながらこれから高齢に向かって行きますが、このアンケートで少し守られるような思いがし、飯塚市に住んで良かったと思う。
女性	65～69歳	今回アンケート記入にあたり思うことは自分が直面していることはすぐにこたえられるが、余りよく分からない事もあり、あらためて感心のありなしを考えさせられました。今後はもっと感心を深めていき困っていらっしゃる方にアドバイス出来ればと思います。
女性	50～59歳	飯塚に住んで良かったと思える町づくりのためにアンケートの集計大変でしょうが、頑張ってください。
女性	80歳以上	本人は施設に入っており、2回目です。無作為の選出もかなり無駄が多いのではないのでしょうか。
女性	40～49歳	福祉は本当に必要な人に適切に判断し、行わなければならないと思う。行政的には余力がない中でこのアンケートが何を抱えてくるのか分からないが、過剰は人をダメにすると思う。
男性	40～49歳	障がい者を対象としたアンケート調査ですが、知的障がい者に関しては本人の意思能力等に差異があり設問の理解が出来ない人も多々ある。家族代理で気持ちを聞いても本人ではなく、家族の意見となりがちではなからうか。知的障がい者に対するアンケート等は家族等を交えたものが良いのではなからうか。読み書きは出来るがその意味は理解できていないので当人には何の感心もなく自力では回答できない。
男性	30～39歳	この程度の内容ならアンケートとるまでもなく分かることだと思います。この内容をどう利用していくのですか？結果は教えてくれるのですか。

【ボランティア活動・NPOについて】(4件)

性別	年代	意見
女性	70～74歳	元気なお年寄りがまだたくさんいると思います。そう方をもっと掘り起こして活用したらどうですか。15年前私は60歳前でした。決まりで60歳過ぎだと断られていました、今はできません。
女性	40～49歳	飯塚市は色々なことをやろうとグループを発展させる人は結構いてグループもいろいろあるのだけれど、それぞれがバラバラでまとまりがないように思える。しっかりとしたリーダーが強い意志で引っ張っていかないとずっとこのままバラバラな飯塚市のもまであるような気がする。
男性	70～74歳	既存の団体が完全にというか、保守的になっていて機能していない気がする。新しい枠組みで考えを作っていくことが大事だと思われる。誰もがしてもらおうという受け身的な考えでなく、一人一人自分の事だと思うような教育から始めていく必要もある。ボランティアの活動を強く進めていくことも大事なのではないか。一人一人の意識の改革が早急に求められている気がしています。
男性	60～64歳	ボランティアなどで行うには拠点が必要である。小学校区、町内会などの地域で住民運営の小規模多機能な福祉センターを作らせてほしい。乳幼児、障がい児、高齢者、不登校児などだれでも利用できる共生サービスのデイケア、ナイトケア、泊まりのあるセンターである。介護保険の地域密着型小規模多機能ホームは業者のケイアイ中心で囲い込みデイサービスにならざるを得ず、真に地域密着にはなっていない。これからは地域の元気な高齢者が高齢者を支える社会になるであろうから、特に団塊世代の力を結集し、空家、学校の空き教室等を利用し、地域の福祉拠点を作らせてほしい。そこで介護保険、自立支援費利用、子育て、託児、一時預かりなど地域のニーズに応じた支援を行い、利用、収入、活動が回っていくような自立した運営としていきたいと団塊世代の私は考える。飯塚独自の福祉の町づくりをしてほしい。役所にはアイデアマンはいませんか。議員経営の社会福祉法人や建設業者の福祉の箱物経営が真の住民福祉につながっているようには見えないがどうですか。

【協働のありかたについて】（8件）

性別	年代	意見
女性	40～49歳	もちろん行政だけじゃだめ。社協だけでもだめ。行政と社協はいい意味での差別化が必要だと思う。もっとお互いに立場を主張して批判的に協力しあうことが必要であろう。国、県等は地域重視とばかり言うがその受け皿が明確ではないので、言うばかりで地域の皆は冷たい。冷たいというより、これだけ不景気なら自分のことで一杯になるのが現状だと思う。産炭地という地域性、近所のつながりが薄くなった今、地域での福祉推進の具体的進め方は今の社協の力量では無理だろう。24時間365日いつでもこい！といったような民間社協対応型職員がいないだろう。近所の周りに対する無関心はとてつもなくすごい。しかし、あきらめるよりコツコツやり続ける（PRL続ける）しかないだろう。だって地域の福祉推進は住民が主役なのだから。
男性	60～64歳	地域住民、福祉団体、行政等が協力して地域福祉の活動を進めて行くことは大変重要であり、良いことだと思いますが、最終的には予算の問題があり、民間や福祉団体だけではどうすることもできないと思われる。従って行き着く所はやはり行政の方で予算計上をしていただかなければ先に進まないと思っています。
女性	60～64歳	福祉や行政の協力は必要だと思うけれど、一人一人が自分のできることから始めたらいい。やってもらう事が当たり前と思わずに努力が必要ではないか。
女性	70～74歳	地域や行政へ要望する前にまず家庭が安心して生活できる環境にしなければならない。しかし、現実には子供がいても仕事で協力ができぬため、福祉に頼らなければならぬ等がある。要望がかなえられる為には経済（お金）の問題が出てくるので期待できるかと疑問である。
男性	60～64歳	どんなときにも行政と住民が何でも話し合える環境が常に出来ている事が、一番望ましい故に両者の協力が絶対条件となるのでその辺のところを重点的に進めて行くべきである。
女性	75～79歳	行政等ばかりたよらず地域住民、ボランティア等の立ちあがりをお願いします。
男性	70～74歳	人々の支えあいと活気のある社会を作るため、当事者の自発的な協同の場が新しい公共である…「新しい公共」宣言より。国民、市民団体や地域組織、企業やその他の事業体、政府（行政）等が一定のルールとそれぞれの役割を持って当事者として参加し協働する。人と人の絆や人の役に立つ喜びを大切に、企業は社会貢献をする。多様なニーズに柔軟に対応できる地域福祉作りも必要ではないかと思う。
男性	65～69歳	どの問題についても、地域住民で相互の力を出しあって解決して、必要ならば行政等に申請して、保険を求める又は手助けをしていただける。そのようなことがいつでもできる状態を希望します。

【低所得者に対する福祉について】（9件）

性別	年代	意見
女性	60～64歳	母子手当の事ですが、私の近所にもいますけど、別れたようにしてご主人と一緒に生活されている人もいます。男の人を家に入れて生活している人もいます。もう少しよく調べて欲しいと思っています。
男性	75～79歳	70歳以上の保健窓口負担が1割から2割に上がるが痛い。生活保護の支給者が全員がふさわしいか。中にはインチキして受給している者がかなりいると思われる。再調査を。
女性	65～69歳	主人は年金ありますが、私は3年位足りないの私は年金貰ってない。主人一人の年金で生活しているので介護まで払う事は苦しいです。何とか考えてほしい。私達も苦しい生活をしていなければなりません。私みたいな人は多いと思いますので、少しでももらってない者にもあげるようにしてほしい。
女性	65～69歳	今は（68歳）草刈り作業という仕事で何とか生活していますが、これがないと年金は少ないし、主人も病院行きばかりで私の小遣いまでもらうわけには行かないし、この先1、2年はどうにかしてと思っています。少ない年金で時間がうまくいかないし草刈りで日数は少ないけれど、先が不安です。介護保険も引かれ

		るし、皆さんも数多い人の苦しみはあると思います。
女性	70～74歳	年金はどうなるかな。子供たちは自分のことで一杯のよう。頼れないし生活保護のほうが良いかな。病気がちな私は保護だと医者代もただだし、先の事を考えると死にたくなります。今はまだ夫がいるけど、亡くなったらどうしようと毎日が不安です。私の若い時は老後は年金での生活と政府を信じていました。
女性	70～74歳	年金の少ない人のために、なんでもお金がいるではなくほんの少しでもはえでる、心があれば本当に嬉しく思います。
女性	70～74歳	まず、若い時は健康で働き、勤める権利と義務で納めた税や国民年金が働けなくなり年老いて受け取った自分の補償金が生活保護の方々より少ない賃金で病院や衣食住の支払いで苦しみ、福祉金も自払いとしている現状。生活保護の方々より不当な保証だと思う。福祉金は生活保護者の経費を見直し皆平等な手当を受けるよう考案してほしいと願っています。
女性	40～49歳	介護保険や生活保護、その他の公的サービスについて本当に必要な人が利用できていない状況にある。また、基準がわかりづらいところもあり、生活に支障をきたしている人が福祉サービスを受けられないのはなぜなのか?わかりません。必要ない人が利用できて、必要な人が利用できない理不尽を感じます。行政はもう少し見直しをしてほしいと思うし、医療(かかりつけ医)、近隣に住む住人、本人等にリサーチして本当に必要な人にサービスを受けられるようにしてほしい。地域住民が協力できることに限界があります。福祉団体も何をしているのか分からないところがあります。広く活動内容を知らせるべきでは?と思います。参加できることがあるかもしれないのに、見逃してしまっている様な気がします。自分自身にかえってくる事でもあるので、興味や自分にできる手伝いは参加できたらと思います。社会全体で参加できる基盤作りができるのが良いのではと思います。
女性	75～79歳	福祉団体、行政等が別でも不正生活保護も厳しく。市住にいてる人で40歳代で車でパチンコ。家庭内別居する人です。

【地域の治安（防犯）・マナーについて（2件）】

性別	年代	意見
男性	60～64歳	災害時はなんといっても近所の住民の手助けが一番。福祉にしても近所の対話が一番。防犯・犯罪にしてもしかり、そこから行政の手助けが必要と思う。
女性	80歳以上	2年前頃まで河川の草むらや木の枝にゴミ類があちこちで多く目についていました。最近は見つけられないようになり嬉しい気持ちでみています。みんな一人ひとりの心づかいで住みよい美しい飯塚市でありたいと思う。

【災害時・緊急時の対応について】（5件）

性別	年代	意見
女性	75～79歳	災害水害時の避難場所がわからない。地域住民にわかるようにお願いします。
女性	80歳以上	本人がほとんど寝たきりの生活のため、風水害、地震災害などの避難手段が心配。
女性	80歳以上	子供は遠方に転勤です。高齢で一人で住んでいます。災害の時、急病な時や骨折など動けない時、電話もかけられない時、どのように連絡を取れば良いのか心配です。ボタンひとつでどこか(病院)に連絡が取れるような事があったら安心して一人でも暮らせます。高齢の人が安心して生活できますよう、よろしくお願いします。
男性	30～39歳	個人情報等で難しいところもあるかと思いますが、近所の緊急連絡網、相談するところの一覧表みたいなものがあれば役立つと思います。災害(雨、地震など)に応じた避難場所の情報があれば助かる。* 実際、住んでいる地区の避難場所を知らない。

女性	50～59歳	老人の孤独死などあってはならないことが多すぎる。現代のようにIT技術が進んでいるなら、この技術を福祉に使うべきと思う。例えば、気分が悪くなったときにボタン一つ押すだけで連携の病院につながる、救急につながるなど。実際の機械端末を見たことがあるが、民間レベルで既に研究が実証されて来ている地域もある。人はどんどん少なくなっていく。人の代わりに動かさなければならないものが求められるのだ。
----	--------	---

【児童福祉について】(5件)

性別	年代	意見
女性	50～59歳	私の住んでいるところは子供さんがとても少ないです。今から町を支えて行く人がいなくなる日が来るよう不安もあります。そんな地域は他にもあると思います。行政からの働きかけが住民を動かすと思うのでこれからもよろしくをお願いします。
女性	40～49歳	税金を使うわけですから費用対効果を十分に評価して住民の自立を促すような仕組みにしてもらいたい。高齢者に偏りがちだと感じるので子供にもっと予算を取って欲しいし、子供を安心して持てるような将来性のあるサービスにお金を投入してほしい。
女性	30～39歳	母子・父子のひとり親の福祉はちゃんとしているけど、別居している場合は生活が大変です。収入が少なくても何も補助がない。離婚しないと市営も申込み不可です。離婚は簡単にはできないので、そういう場合でも安心して暮らせるような補助があればと思います。
女性	40～49歳	私は、学生の頃(小3、中2,3)全員からさんざんいじめられました。今問題になっていますが、昔からあっているいじめから直さないと福祉など良くしようと思っても無理だと思います。(子どもが私らの歩くまねをしていてもそばにいる親は注意しない)多く見られます。テレビでいじめのニュースを見るたび、私をいじめた子は親になっている今、何を考えているんだろうか?といつも思います。歩く歩道がでこぼこが多く幅がせまい場所をきちんとしてほしいです。階段には手すりをつけてほしい。
女性	30～39歳	まだ、実感がありませんが、子ども達が安心して安全に生活できるように今後も努力してほしいです。

【道路・歩道・街灯等の環境整備について】(3件)

性別	年代	意見
男性	75～79歳	私が住んでいる近くには小学校があり通学時間帯には多くの児童が歩道のない道路を利用している。この道路は坂道でカーブしており、見通しのきかない坂道をブレーキを「かけず」下って行く自転車を何台も見かける。事故が起こらないのが不思議に思う。カーブミラーの設置を強く望むところです。毎年年度末になるとさほど必要性のない道路の補修を予算消化のためにとられる箇所が沢山見られる。これらの予算の一部でもカーブミラーの設置費用に運用していただければと思う。交通被害者、加害者にならないためにもぜひご検討いただければ幸いです。
男性	50～59歳	道路ガタガタ歩きにくい
男性	80歳以上	本調査の趣旨から少し外れたかもしれませんが、公図上の里道の件で問題提起をしたいと思います。里道は昔から人及び運搬車輛(駐車あるいは車力)等が通行するものと思いますが、現状では当該道路が拡幅(隣接する私有地を取り込み拡幅されているところ)あるいは、全くその形跡すら見当たらないもの等、多様だと思われます。最近の自然災害に鑑み里道の維持管理が放置されたがゆえに発生し事後処理に困惑することが予想されます。当該道路の利用または廃止等(何よりも隣接する私有地権者等と協議の上)何らかの対策を考える事が必要かと思われます。

【その他】(32件)

性別	年代	意見
女性	65～69歳	「協働」の意味が不明のため意見及び要望なし
男性	75～79歳	旧穎田町の住人です。飯塚市と合併して何も良い事はない。旧穎田町にくらべて税金、ゴミ代金、借地代金全て高く暮らしていく。昔の穎田町が良かった。
女性	75～79歳	H24年の2月に後期高齢者になり、主人も死亡して一人暮らしになり、今回のアンケートを身にしみて感じました。なかなか自分の身にふりかからないといろんな活動に関心も持たず生活しています。このような活動に参加されている方たちには日頃から尊敬し、感謝しています。
女性	60～64歳	家庭に戻す。親は子供がみる昔の日本は良かった。あまりにも行政、福祉の充実で甘えすぎ、親は育ててくれた人、子供たちが孫が(自分勝手な子どもや感謝がない子供にさせてしまった日本の政治が悪いのか教育が悪いのか)他の国から笑われているし越されてしまった日本です。これからこの国で生活していく子供、孫がかわいそうです。福祉、福祉で高齢者ばかりでどうなる日本。
男性	75～79歳	福祉、弱者に力を入れることは良いことですが、生活保護を受けている者の調査を厳しくしてもらいたい。オートレースは行く。酒を飲んでは泥酔して救急隊の出動をするようなことも見えますが考えさせられません。全員再調査してほしい。
男性	30～39歳	地域振興券の発行部数を増やして欲しい。
女性	80歳以上	謳い文句ばかりで現実は厳しい。
女性	75～79歳	地域包括支援センターへ色々の事を相談していますので不自由はありません。
女性	20～29歳	私達一人一人が思いやりを持ち、皆で助けあえたら、幸せですね。私も頑張るので皆さんも無理せず頑張ってください。
女性	30～39歳	国には頼らない元気な飯塚市(福岡)を作って欲しい。私達が住んでいる大切な場所です。私達にできることは絶対に沢山あると思います。
女性	30～39歳	よく考えた事がないのでわかりません、まだ必要性がないからかもしれません。
女性	65～69歳	行政、団体の方たちが悪質にならないように(金利用しないのにしたようにして)。何事も自分のことと思って(家族)。
女性	20～29歳	飯塚をきれいな市にしてほしい。
-	65～69歳	体に良い水が飲みたい。体に良い野菜が食べたい。
男性	60～64歳	まだ仕事をしていまして(旧稲築)嘉麻市の方が今のところ何とか生活するのに主なので、そのうち仕事を辞め家にいることが多くなると、飯塚での福祉等がわかったり、利用させていただいたりになると思います。今の所ここでの活動等がよくわかりません。なので解答してない(できない)箇所もあります。
男性	75～79歳	問題が多岐に亘り目的達成にどの位貢献できるのか不明である。
女性	30～39歳	子どもを産み、育てる世代、働く世代が安心して暮らせる町づくり、ここに住みたいと思える町づくりが必要だと感じます。税金を無駄に使わず、上記の為に使ってほしいです。税金を支えている世代の充実、発展なくして税金で支えられる高齢者や障がい者の福祉の充実はありません。議員定数の更なる削減、報酬の削減。生活保護の不正受給を厳しく是正見直しして取り組む必要があると思います。
女性	20～29歳	高齢化がすすむ日本ですから大変だと思えることが山のようにあります。一方では子どもたちのいじめや虐待。本当に困っている人たちへの生活保護が日本人でない人へも渡る。生活保護はわけのわからない外国人へあげるべきでは絶対にはいはず。ちゃんと収入申告して一円でも申告もれがないようにしている人もいるのに。病気でも働く努力してる人もいるのに。福祉、福祉という前に、教育を見直して、子どもたちに困っている人を助けることを教えていくべきでは。今は飯塚だけでなく日本がおかしい国になっている。自分さえよければ他人はどうでもいい。という考えが増えている。民主党政治のおかげで日本がバラ

		バラに壊れていく。福祉とはもっと民主党政治にのまれることなくやっていってほしい。しっかりしろ日本人。
女性	75～79歳	住みやすい町になる様祈るばかりです。
男性	60～64歳	施設入所者、意思決定不十分なので、施設職員が聞き取り代筆で記入。
-	50～59歳	安心して地域住民の方の暮らすというのは大変難しいですが、福祉・行政等の方々の役割にて日頃より安心はあるかと思えます。子ども達の環境や高齢者の生活などいろいろな問題点はあるかと思えますが、頑張ってください。
男性	30～39歳	まずは、誰もが自分が家族の健康や生活を自分達の努力で保っていく前提がなければ、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりができるとは到底思えません。福祉に甘え頼っているばかりでは持続可能な行政が運営できるはずもなく、特に高齢者福祉を充実させると、後世にツケを回すこととなります。これからの日本を支える次世代の育成や不妊治療等にお金をかけるなら希望はもて、やむを得ず福祉サービス利用するなら分かるが、これまでの生活プランの見通しに甘かった人たちにお金をかけるのは、まじめに働いて納税している人にとっては勤労意欲を失わせるだけでしかない。義務を果たさない者には権利もないのではないのでしょうか。まじめに生活していればそれほど福祉サービスを利用する必要はないはずです。また近年男女共同参画が推進されていますが、男女差を考えないこの取組は家族関係を希薄にさせるものであり、男女共同の形成を望んでいるのは、声をあげている一部の人に過ぎません。その左翼イデオロギーの強い一部の人たちの勢いに負けてしまうことになりかねません。家族というのは生活をしていく上で、とても大切なまとまりです。福祉や人権擁護は国家の後ろ盾があってこそ成立しています。国家を形成している一番小さい単位である家族関係をまずしっかりさせていくことが福祉につながっていくと思えます。
女性	70～74歳	転勤が多く、ここに帰る前はバンコクでした。福祉に関しては本当に不勉強でシステムもよく把握していません。
男性	70～74歳	世の中人間関係複雑化、絆と言うか？安心安全な住みやすい飯塚市へ
女性	70～74歳	私が今一番困っているのは、買い物ことです。交通機関はなく車も運転できない。高速バスが通っていますが、入り口が狭く乗り降りが大変です。荷物でも持っている大変です。コミュニティバス、乗り合いタクシーという制度があるようですが、私の住んでいるところでは何の役にも立っていないと思います。時折タクシーを使うのですが、お金が不安です。買い物途中、帰りに体調が悪くなりすべて捨てて帰りました。買い物だけは何かい方法を考えてほしい。
女性	70～74歳	地域によってスーパー等などが減少している現状で、今は健康で一人で買い物もできるが先々心配です。その辺も考慮してください。
女性	80歳以上	今度の大雨で屋根のトタンがもれていると思いました。以前も少しずつポタポタと漏って、タンスに気がついてみたらタンスの中に雨が降りこみ着物が皆濡れていました。もう着物等この年寄りはいらないのでそのままにしていました。雨が降る度にその部屋には行きたくないし、体も重いしきついでそのままほたっていました。ところがタンスは張りものだったので、めりめりとめくられて全部だめでした。何日もかかって一人でタンスをひっぱりだして外にだし着物は干して捨てました。今頃引き出しをみたら、今年は固定資産税の見なおしたと思いだしたので、家も昭和35年以来たちますので、その間取りのとにかえや風呂も段差のある昔の風呂でしたので、つくりかえました。5年位前私は肋骨をおってしまい、息子が水回りの仕事をしていたのでつくりかえてもらいました。来年から固定資産税が少しでも下がるかなと思って市役所の受付の女子事務員に電話をしましたが、私は耳が遠いので良く分かってもらえませんでした。それであきらめていたのです。
男性	20～29歳	若い人が安心して働ける場所がないので、残った高齢者を助けることができない。もっと企業があれば若い人たちや世帯が増えて高齢者が安心して暮らせると思う。

女性	60～64歳	今は車社会、老後車に乗れなくなったときの生活が不安。
男性	20～29歳	I LOVE 遠賀川みたいに I LOVE 飯塚で町をキレイにする運動。住む町がキレイになればみんながキレイになる。
女性	80歳以上	最近まで、自分の仕事を中心として動きそれも50年をはるかに上回っています。第一に健康な心身とやはり皆さんの協力があればこそ出来えたことと思う。
女性	80歳以上	何もとるものがないほうがいい。なまじ国民年金があれば心に誇りがもてるだけでもいい気持ちになる。黒と白の違いをもう少しはっきりしてほしい。少しの財産は重い荷物になるばかりである。